

平成 26 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業

市町別事業計画書 目次

四日市市	2
桑名市	5
鈴鹿市	6
亀山市	9
いなべ市	15
木曽岬町	16
東員町	18
菰野町	19
朝日町	21
川越町	23
津市	24
松阪市	30
大台町	35
多気町	37
明和町	38
伊勢市	39
鳥羽市	41
志摩市	44
度会町	46
大紀町	48
南伊勢町	51
玉城町	53
伊賀市	54
名張市	58
尾鷲市	63
紀北町	65
熊野市	69
御浜町	72
紀宝町	75

※平成 26 年 9 月 30 日までに県に提出された計画書をまとめたものです。

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり
------	-----------------

市町名	四日市市
-----	------

番号	区分	事業名
1	基本・特別	里山保全事業
事業費 3,750 千円（うち交付金：800 千円）		

1. 事業の目的	市民緑地制度に基づき、市が無償で借り上げた民有地を地域住民が散歩や憩いの場として活用できるよう、施設整備及び維持管理を地域の市民団体に委託することにより、市街地周辺に位置する里山など貴重な緑を市民協働により保全する。	
2. 事業の内容	散策路の整備や看板設置などの開設準備及び維持管理を地域の市民団体に委託する。 ・事業実施主体：市 委託先：地域の市民団体 ・事業実施予定期間 平成26年度中 ・新たな開設の整備費：1箇所 A=10,000 m² C=500 千円 ・拡充（増設）部分の整備費：1箇所 A=2,628 m² C=300 千円	
3. 事業で期待される効果	面積 300 m²以上の緑地または植栽が可能な空地が市民緑地の対象であり、平成26年度は新たな開設として1箇所、既設の市民緑地で拡充（増設）部分の整備を1箇所それぞれ予定している。 整備された市民緑地には地域住民による散歩や、イベント開催時には幅広い世代の地域住民が集まり自然に親しむ場となる。 整備されたことにより恩恵を受ける市民数 2箇所：40,000 人 取り組みに参加する市民数 2箇所：50 人 （平成25年7月に開設された「みえ北めぐみの森」）	
4. その他特記事項	・市内における平成25年10月現在既設の市民緑地：8箇所（面積 最小 1,149 m²、最大 16,607 m²） ・「広報よっかいち」では毎年度緑に関する特集を掲載し、市民緑地制度などの紹介により、うるおいと安らぎをもたらす緑の推進保全について市民への啓発を図っている。 ・地域の市民団体が自らの手で整備することにより、地域コミュニティの維持向上につながる。	

第 6 号様式（その 2 の 1）

平成 2 6 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり
------	-----------------

市町名	四日市市
-----	------

番号	区 分	事 業 名
2	基本 ・特別	治山森林関係事業（竹林整備支援事業）
事業費 1,500 千円（うち交付金：1,500 千円）		

1. 事業の目的	放置竹林等の適正な管理を目的として、地域住民やボランティア団体等が主体となって活動を行っている組織等にウッドチップターの貸出しを行う。
2. 事業の内容	・ 事業概要：ウッドチップター購入（1 台） KCM125DXBP アルミブリッジ（足場）購入 ・ 事業実施主体：四日市市 ・ 事業実施期間：平成 26 年 6 月～平成 27 年 3 月 ・ 事業費：1,500 千円 ・ 事業規模：10 地区 約 24ha
3. 事業で期待される効果	・ 過年度、バンブーバスター事業を行った地区において放置されている竹の処理等が円滑に行え活動促進に繋がる。 ・ 事業規模：10 地区 約 24ha ・ 事業の受益者数：約 250 人 
4. その他特記事項	・ 過年度 バンブーバスター実施状況 10 地区 約 24ha ・ 市の HP や広報誌等への掲載。

平成 26 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり
------	-----------------

市町名	四日市市
-----	------

番号	区 分	事 業 名
3	基本・特別	水沢もみじ谷景観整備事業
事業費 76,000 千円（うち交付金：42,082 千円）		

1. 事業の目的	本市水沢町の東海自然歩道沿いに存する「水沢もみじ谷」は本市の主要な観光資源のひとつであるが、斜面が急峻であることから、台風等の大雨の度に上部の県道 44 号宮妻峡線から流入する雨水排水が斜面を侵食し、立木（シデ類）の倒木や法面の崩落が発生している。 このため、倒木の恐れがある危険木を除去するとともに崩落した法面を補修し、もみじ谷としての景観を保全しつつ森林整備を行い、紅葉狩りや森林浴の場として、また、ハイキング等による健康増進のために活用する。
2. 事業の内容	・事業実施主体：四日市市（単独事業） ・事業費：76,000 千円 ・工事の概要：施工箇所 四日市市水沢町地内 法面吹付工 2,800 m² 植栽工（低木）2,800 m² ・事業実施期間：平成 27 年 1 月～平成 27 年 6 月（予定） ※ 現在、工法を含めた実施設計中であり、事業費については変更になる場合があります。
3. 事業で期待される効果	東海自然歩道の主要な景観地、もみじ谷の景観及び散策者の安全と健康増進に資する。 ・事業実施面積：約 2,900 m² ・除去する危険木の本数：約 30 本 ・事業の受益者数：「もみじ祭り」への来場者のほか 東海自然歩道に散策に訪れる人数（年間 2 万人以上）  法面崩落の様子 （手前は東海自然歩道）
4. その他特記事項	当地では、地域住民が主体となって自然環境の保全に取り組むなど、地域住民による森林づくりが行われています。また、例年 11 月下旬には「もみじ祭り」を開催するなど、紅葉の時期には毎年大勢の来場者で賑わっています。しかし、度重なる大雨の影響による倒木や法面の崩落が発生し、地域住民の力だけでは対応できない状況にあることから、本市として新たにこの事業に取り組むこととしたものです。 なお、交付金事業として実施した場合は、もみじ祭りの開催案内（チラシ等）への掲載、現地への看板設置を行い、当該事業が広く県民の負担で実施されたことを広報します。

第6号様式（その2の1）

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり
------	----------------

市町名	桑名市
-----	-----

番号	区分	事業名
1	基本・特別	多度山環境整備事業
事業費 9,625 千円（うち交付金：8,025 千円）		

1. 事業の目的	荒廃した里山における危険木・枯損木の伐倒処理や林内整理をすることにより生活環境の保全や向上を図る。また、獣害対策にもつながる。
2. 事業の内容	危険木・枯損木の伐倒処理や林内整理。また、獣被害防止対策としての緩衝林の整備。 事業実施主体は桑名市。 【事業費】9,625 千円 【事業の規模】3ha 【事業実施予定期間】期間は平成26年5月から平成27年3月末。 （平成31年3月まで実施予定）
3. 事業で期待される効果	里山を整備することにより、 - 病虫害による枯損木・枯損木の減少 - 落葉樹林地への侵入竹林対策 - 自然環境の保全 - 獣被害の減少等地域住民の暮らしの安全性の向上。 【事業の規模（事業量）】3ha 【事業の受益者数】整備によって恩恵を受ける戸数及び人数 約100戸、約300人 
4. その他特記事項	年度ごと伐採施工後、みえ森と緑の県民税市町交付金にて施工した看板を、地権者の承諾を得、立てる予定。

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	3. 森を育む人づくり
------	-------------

市町名	鈴鹿市
-----	-----

番号	区分	事業名
1	基本・特別	ヒノキのコースター・竹ポット作り体験事業
事業費		97,200 円（うち交付金：97,200 円）

1. 事業の目的	ヒノキを使ってコースターを作り，竹を使って木の苗を植える元になるものを作ってもらふことで，木を使ったものづくり体験を通して，参加者に木の良さや大切さを感じてもらふことと同時に，森林の基礎部分に触れ合うことで森林を身近に感じてもらうことを目的とする。
2. 事業の内容	のこぎりの使い方を学びつつ，ヒノキを利用してコースターを作り，竹のポットを使って山に植えるための木の苗を作る体験を行う。 事業実施主体：鈴鹿市 事業費：97,200 円 事業の規模（事業量）：1 回 事業実施日：平成 26 年 4 月 13 日
3. 事業で期待される効果	ヒノキを使ってコースターを作るという木を使ったものづくり体験を通して，体験参加者見込み約 100 人に木の良さや大切さを感じてもらふことができる。また，竹ポットを作ることで新たな森林を作る第一歩となり，森林を作り上げていく基礎部分に触れてもらうことにつながり，森林を身近なものに感じてもらうことにもつながる。 事業の規模（事業量）：1 回 事業の受益者数：参加者数（見込み）：100 人
4. その他特記事項	この体験事業の財源として「みえ森と緑の県民税」が活用されていることを体験会場で掲示し周知する。

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり
------	-----------------

市町名	鈴鹿市
-----	-----

番号	区分	事業名
2	基本・特別	暮らしを守る森林保全事業
事業費 8,000 千円（うち交付金：8,000 千円）		

1. 事業の目的	当市の海に面した沿岸には海岸林があり，防潮・防風・飛砂防止・津波軽減など暮らしを守っているが，病虫害被害が広がっていることや，手入れされずに枝が広がり，道路や電線，集落に覆いかぶさり，台風時に倒木したり，枝が飛散して集落や人身に危険を及ぼすことが懸念されている。そこで，当該税活用事業により，人家周辺における危険木や病虫害被害木の伐採・除去，被害防止のための処置等を実施することによる海岸林等の維持保全を行い，通行の安全や住民の暮らしの安全を確保することを目的とする。
2. 事業の内容	海岸林や人家周辺の危険木の伐採・除去や病虫害被害木の伐倒・駆除，被害防止・維持保全のための樹幹注入等を実施する。 実施主体：鈴鹿市 事業費：8,000,000 円 事業量：7.2ha 伐採本数（見込み）：50 本程度 樹幹注入本数（見込み）：170 本程度 事業実施期間：平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月 
3. 事業で期待される効果	海岸林や人家周辺における危険木や病虫害被害木の伐採・除去，さらには被害防止のための処置等を実施することによる維持保全を行うことで，台風等による倒木での人家の被害の防止や病虫害被害の拡大防止につながり，通行の安全や住民の暮らしの安全を守ることにつながる。 事業量：7.2ha 事業受益者：鼓ヶ浦海岸付近在住の市民（1,204 世帯 2,915 人）
4. その他特記事項	「みえ森と緑の県民税」を活用した事業であることを，事業実施地において作業期間等を表示する案内看板に掲示して市民へ周知する。

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり
------	----------------

市町名	鈴鹿市
-----	-----

番号	区分	事業名
3	基本・特別	光差し込む明るい森林づくり事業
事業費		2,250,800円（うち交付金：2,250,800円）

1. 事業の目的	鈴鹿市の庄内小学校は里山に囲まれているが、生活様式の変化により薪や落ち葉の採取等に活用されなくなって手入れ不足となり、「ヤブ状態」となっている。 このような荒廃した里山は野性獣が身を隠しやすいことから、獣害が発生している。獣害は農作物被害だけではなく、通学路や学校敷地へのサルの侵入により児童の安全確保の面からも大きな問題となっている。また、森林病虫害の発生や倒木の恐れもあることから、この里山を光が差し込む明るい森林とし、生活環境を整備することを目的とする。
2. 事業の内容	有害野生鳥獣の隠れ場をなくし、庄内小学校に通学する児童の安全を確保し、また、周辺農地への鳥獣害を軽減する等のため、危険木の伐採、間伐、受光伐採、下刈りを行い、庄内小学校周辺2haの森林を整備する。下刈り等の管理については、地域ボランティアと連携による維持管理体制の構築を目指す。 事業実施主体：鈴鹿市 事業費：2,250,800円 施工箇所：庄内小学校周辺2ha 工期（予定）：平成26年9月～平成27年3月
3. 事業で期待される効果	庄内小学校周辺の荒廃した森林に間伐等を施し整備することで、有害鳥獣の隠れ場をなくし、有害鳥獣の通学路及び校地への侵入を防止するとともに、周辺農地への鳥獣害を軽減することができる。それにより、庄内小学校に通学する児童、および周辺住民の森林に対する恐怖感、嫌悪感を払拭し、森林と触れ合うことにつながる。これらのことにより、今より一層森林の大切さを感じることができるようになる。 また、小学校の周囲であることから、将来的には森林教育のために活用されることが期待される。 事業受益者：周辺住民、庄内小学校生徒・保護者・及び職員
4. その他特記事項	「みえ森と緑の県民税」を活用した事業であることを、事業実施地にて表示する。

平成 26 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり
------	-----------------

市町名	亀山市
-----	-----

番号	区 分	事 業 名
1	基本・特別	里山・竹林生活環境保全支援事業
事業費 2,000 千円（うち交付金：2,000 千円）		

1. 事業の目的	市内の里山や民家周辺の竹林は利用されずに放置されてヤブ化している。これらの荒廃した里山や竹林を再生し、民家周辺の生活環境の向上や地域住民の憩いの場、環境教育の場として利用することを目的とする。
2. 事業の内容	地域住民が組織する団体等が、地域住民の憩いの場としての利用や安全性の確保を目的として、持続的に民家周辺の道路に隣接した里山や民家周辺の竹林を整備に要する費用に対して支援する。 【事業実施主体】自治会、地区コミュニティ、地域まちづくり協議会、NPO 団体、森林保全任意団体 【事業費】2,000 千円 【事業の規模（事業量）】2 団体 2 h a 【補助対象事業】○民家周辺の道路に隣接した里山保全活動 （竹・雑草木・風倒木・枯損木の伐採除去や歩道整備など） ○民家周辺の竹林整備活動 （竹、雑草木の伐採・搬出・処理） 【補助対象経費】外部委託料、傷害保険代、燃料代、車両等リース代賃借料、事務用消耗品、資材等購入費、外部指導者への謝金等。 【補助金額】1 団体 1 回限り 3 年以内で 100 万円以内とする。 【事業実施期間】平成 26 年 10 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日
3. 事業で期待される効果	里山や竹林が再生され、地域住民の生活環境の向上や民家や道路への安全性が確保されるとともに、景観の保全、健康づくりの場、体験学習の場として心の豊かさを提供できる。また、地域住民が主体的に活動することで、地域の里山や竹林を見直すきっかけともなり、継続的な取組みが期待できる。 【事業の規模（事業量）】2 団体 2 h a 【事業の受益者数】整備によって生活環境が向上する集落の戸数及び人数 約 900 戸、2,000 人
4. その他特記事項	地域住民による活動の様態を取材し、市広報等により記事掲載する。 事業地に看板を設置するなど、その財源が「みえ森と緑の県民税」であることを周知してもらう。

平成 26 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり
------	-----------------

市町名	亀山市
-----	-----

番号	区 分	事 業 名
2	基本・特別	安全な通学路整備事業
事業費 500 千円（うち交付金：500 千円）		

1. 事業の目的	通学路沿いで、私有林地に植生した樹木が、倒木や枯損木、枝葉が通学路へ危険を及ぼす恐れのある木々の伐採を行い、子どもたちの通学路の安心・安全を図る。
2. 事業の内容	通学路沿いで、私有林地に植生した樹木が、倒木や枯損木、枝葉が通学路へ危険を及ぼす恐れのある木々の伐採を行う。 【事業実施主体】市 【事業費】500 千円 【事業の規模（事業量）】2 箇所（両尾町、白木町地内） L=600m 【事業実施期間】平成 26 年 10 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日
3. 事業で期待される効果	子どもたちの通学路の安心・安全が確保される。 【事業の規模（事業量）】2 箇所（両尾町、白木町地内） L=600m 【事業の受益者数】整備箇所対象小学校（野登小学校、白川小学校）児童通学者数 40 人
4. その他特記事項	道路管理者等が、当該箇所の選定及び森林所有者の同意を取得し、森林林業室が業務委託により実施する。 事業実施状況について、広報媒体を活用して普及啓発いたします。

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	3. 森を育む人づくり
------	-------------

市町名	亀山市
-----	-----

番号	区 分	事 業 名
3	基本・特別	森と木材のふれあい事業
事業費 500 千円（うち交付金：421 千円）		

1. 事業の目的	森林とふれあいながら、森林や緑を大切に思い、育む人づくりのため、児童・生徒をはじめ様々な市民に、森林や木材について学び・ふれあう機会を提供し森林と木材と市民との関係を深める。
2. 事業の内容	【事業実施主体】 亀山市 【事業費】 500 千円 【事業の規模（事業量）】 森林講座の開催 3 日コース 「F1（フォレストワン）の森」 木育教室の開催 3 回（駅サイティングまつり、街道まつり、里山まつり） 亀山の森を紹介するDVDの作製 作成者（市・NPO 法人等・三重大学連携） 【事業概要】 森林講座の開催：測量体験、枝打ち体験、鋸・チェーンソー間伐など 木育教室の開催：木工パズルの作成、丸太切り体験など 亀山の森を紹介するDVDを作製し、小中学生の森林環境教育の教材として活用してもらう。 【事業実施期間】 平成26年5月1日～平成27年3月31日
3. 事業で期待される効果	子どもから年配者まで幅広い年代層まで森林の持つ機能や間伐材の有効利用や木材の良さをPRすることができる。 【事業の規模（事業量）】 森林講座の開催 3 日コース 「F1（フォレストワン）の森」 1 日目 座学、森林散策、測量体験、林分調査 2 日目 座学、枝打ち体験、のこぎり間伐体験 3 日目 座学、チェーンソー間伐体験 木育教室の開催 3 回（駅サイティングまつり、街道まつり、里山まつり） 【事業の受益者】 森林講座の開催 参加者数（見込み） 20 人 木育教室の開催 参加者数（見込み） 300 人
4. その他特記事項	事業実施状況について、広報媒体を活用して普及啓発いたします。

平成 26 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	3. 森を育む人づくり
------	-------------

市町名	亀山市
-----	-----

番号	区 分	事 業 名
4	<u>基本</u> ・特別	かめやまの木づかい支援事業
事業費 400 千円（うち交付金：400 千円）		

1. 事業の目的	多くの市民に利用される市内の公共的施設に亀山市産材を使用した備品類を設置してもらい、市民が亀山市産材とふれあう機会を創出する。 また、亀山市産材を使用することによって、市内の森林整備につながり、植える・育てる・伐採する・利用するといった健康な森のサイクルが発揮される。
2. 事業の内容	多くの市民に利用される市内の公共的施設において、亀山市産材で製作した木製の家具の購入に要する費用に対して支援する。 【事業実施主体】施設管理者 【事業費】400 千円 【事業の規模（事業量）】2 施設 【補助対象施設】亀山市公共建築物等木材利用方針第 3 に規定する施設 （例）民間保育所、幼稚園、社会福祉施設、病院又は診療所等 【補助対象経費】亀山市産材で製作された机・椅子（屋外ベンチ含む）・本棚、下駄箱等の木製の家具の購入にかかる費用 【補助金額】1 施設 1 回限り、20 万円以内とする。 【事業実施期間】平成 26 年 10 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日
3. 事業で期待される効果	多くの市民が利用する施設に亀山市産材を使用した家具を設置してもらうことで、市民が木にふれあい、木の魅力を知ることによって亀山市産材を使用することにつながり、より多くの木材需要を誘発する波及効果が期待できる。 【事業の規模（事業量）】2 施設
4. その他特記事項	施設に掲示するなど、その財源が「みえ森と緑の県民税」であることを周知してもらう。 また、購入した家具には、亀山市産材で製作されたことがわかるようシール又はゴム印を押印し表示する。

平成 26 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり
------	--------------------

市町名	亀山市
-----	-----

番号	区 分	事 業 名
5	基本・特別	緑あふれるまちづくり支援事業
事業費 600 千円（うち交付金：600 千円）		

1. 事業の目的	都市の緑は、市民に潤いと安らぎを与えてくれるとともに、身近で貴重な自然であり、美しいまちづくりを進める上で重要な役割を果たしている。このため、地域まちづくり協議会や市内の工場・事業所が行う緑の環境づくりを進める活動に対し支援する。
2. 事業の内容	市内の工場・事業所が実施する市内での緑化活動に要する費用に対して支援する。 【事業実施主体】市内の工場・事業所 【事業費】600 千円 【事業量】3 事業所 【補助対象施設】市内の工場・事業所の敷地 【補助対象経費】緑化資材（苗木や芝生、肥料、支柱）の購入にかかる費用 但し、苗木は 1 本あたり 1 万円を超えないものとする。 【補助金額】○工場立地法第 6 条第 1 項に定める工場・事業所（敷地面積 9,000 m²又は建築面積 3,000 m²以上）1 回限り、30 万円以内とする。 ○上記以外の敷地面積 3,000 m²以上の工場・事業所 1 回限り、20 万円以内とする。 【事業実施期間】平成 26 年 10 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日
3. 事業で期待される効果	事業所の屋上や敷地への緑地を創出することにより、気温の上昇を抑制したり景観の向上が図られる。 【事業量】3 事業所
4. その他特記事項	市民の目に触れる場所に看板を設置し、緑化を行っていることや、その財源が「みえ森と緑の県民税」であることを周知してもらう。

第6号様式（その2の2）

基金積立に係る事業計画概要書（当初・実績）

市町名：亀山市

1. 事業計画

事業実施 （予定）年度	事業の内容	事業費 （千円）	財源区分（千円）					
			実施年度 県交付金		市 町			その他
			基 本	特 別	基 金 積立金	一 般 財 源	その他	
平成 28 年度	かめやまの木づかい支援事業 1,200 千円 公共的施設の管理者が、亀山市産材を使用した木製家具 の購入を支援する。1 施設 1 回限り 20 万円以内	(6,000) 2,400	(0) 0	(0) 0	(6,000) 2,400	(0) 0	(0) 0	(0) 0
	緑あふれるまちづくり支援事業 1,200 千円 地域まちづくり協議会や市内の工場・事業所の緑化活動 に対する緑化資材の購入を支援する。 地域まち協議会、工場・事業所 1 回限り 30 万円以内 その他工場・事業所 1 回限り 20 万円以内							
合 計		(6,000) 2,400	(0) 0	(0) 0	(6,000) 2,400	(0) 0	(0) 0	(0) 0

2. 年度別積立計画

（単位：千円）

年 度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	合 計
基本配分枠交付金の 基金への積立	(6,000) 2,400	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(6,000) 2,400
特別配分枠活用事業 申請予定額	0	0	0	0	0	0
合 計	(6,000) 2,400	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(6,000) 2,400

第6号様式（その2の2）

基金積立に係る事業計画概要書（当初・実績）

市町名：いなべ市

1. 事業計画

事業実施 （予定）年度	事業の内容	事業費 （千円）	財源区分（千円）					
			実施年度 県交付金		市 町			その他
			基 本	特 別	基 金 積立金	一 般 財 源	その他	
平成 27 年度	北勢保育所（仮名）の建設 いなべ市公共建築物等木材利用方針（H24.3.14 制定）に基づき、いなべ市が保育所を建設するにあたり、県産材を活用した木造化を行う。 【事業主体】いなべ市 【事業費】698,200 千円（木造平屋建 1,700m ² ） 【事業予定期間】H27.4 月～H.28.3 月	698,200	6,144	20,000	6,144	665,912	0	0
合 計		698,200	6,144	20,000	6,144	665,912	0	0

2. 年度別積立計画

（単位：千円）

年 度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	合 計
基本配分枠交付金の 基金への積立	6,144	6,144	0	0	0	12,288
特別配分枠活用事業 申請予定額	0	20,000	0	0	0	20,000
合 計	6,144	26,144	0	0	0	32,288

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	木曽岬町
------	-------------	-----	------

番号	区 分	事 業 名
1	基本・特別	森林環境教育事業
事業費 1,436 千円（うち交付金：1,158 千円）		

1. 事業の目的	
当町は、1 級河川「木曽川」の最下流部に位置し、この河川から、大きな恩恵を受けております。しかしながら、上流部との交流活動もなく、山間地域を実感する機会がありません。このことから、木曽川の源となる山間地域を訪れ、森林とのふれあいにより、河川の恵みは森林から授かっていること認知する機会を作る。	
2. 事業の内容	
木曽川の源流となる長野県木曽郡木祖村を訪れ、上流部の森林の存在によって下流地域が支えられていることを児童たちが認識する機会を作る。 【実施主体】 木曽岬町、木曽岬町教育委員会 【事業費】 1,436,000 円（うち交付金：1,158,000 円） 【学習内容】 体験学習（一泊）【天然林散策、各種体験学習、野外調理学習（交付金対象外を含む）】 【実施場所】 長野県木曽郡木祖村（木曽川源流の里） 【実施期間】 平成 26 年 7 月 16 日～17 日（平成 26 年度からの新規事業）	
3. 事業で期待される効果	
児童たちが森林からの恵みを体感することにより、森林の必要性や大切さを実感させることが出来る。 【事業の受益者数】 小学生 5 年生 53 人	
4. その他特記事項	
みえ森と緑の県民税を活用した体験学習内容を広報紙に掲載予定	

第6号様式（その2の2）

基金積立に係る事業計画概要書（当初・実績）

市町名：木曽岬町

1. 事業計画

事業実施 （予定）年度	事業の内容	事業費 （千円）	財源区分（千円）					
			実施年度 県交付金		市 町			その他
			基 本	特 別	基 金 積立金	一 般 財 源	その他	
平成 27 年度	複合型施設の建設に伴い、多くの町民が利用する施設を木質化することにより、木づかいを通じて森林を支える。 町民ホール、子育て・障害教育施設の木質化 1,000 ㎡（床面積）×45,000 円＝45,000,000 円 100 ・（県産材使用量）×50,000 円＝5,000,000 円 ※詳細設計が未実施のため概算により算出しております。 年間利用者数（見込み）延べ 8,000 人	20,000	1,100	10,000	1,100	7,800	0	0
平成 28 年度		30,000	1,100	20,000	0	8,900	0	0
合 計		50,000	2,200	30,000	1,100	16,700	0	0

2. 年度別積立計画

（単位：千円）

年 度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	合 計
基本配分枠交付金の 基金への積立	1,100	0	0	0	0	1,100
特別配分枠活用事業 申請予定額	0	10,000	20,000	0	0	30,000
合 計	1,100	10,000	20,000	0	0	31,100

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	東員町
------	-----------------	-----	-----

番号	区 分	事 業 名
1	基本・特別	みえ森と緑の県民税市町交付金事業
事業費 3,021 千円（うち交付金：3,021 千円）		

1. 事業の目的	暮らしに身近な森林を整備することにより、生活環境の保全や向上を図ります。
2. 事業の内容	みえ森と緑の県民税交付金を活用し、これまで整備が進みにくく、荒廃が進んでいる緑地帯や森林地帯を対象として整備を集中的に実施し、人家裏や通学路沿いで倒木になる恐れのある危険木の除去・間伐を行います。 【事業実施主体】 東員町 【事業費】 3, 0 2 1 千円 【事業の規模（事業量）】 推定 15 h a 【事業実施予定期間】 平成 26 年 8 月～平成 27 年 3 月 3 1 日 【事業内容】 健全な森林保全及び森林づくりを展開することを前提とし、 平成 26 年度・・・集合団地（笹尾・城山）周辺の調査。 ※事前概要把握調査、調査方針・項目検討、各種項目調査、 対策・管理手法提案書及び区分図作成、対策実施計画案策定等
3. 事業で期待される効果	みえ森と緑の県民税交付金を充当する事業を適切に実施することにより、森林環境の保全及び地域住民意識の醸成が図れます。 【事業の規模（事業量）】 推定 15 h a 【事業の受益者数】 整備により生活環境が向上する集合団地の戸数及び人数 230 戸 800 人
4. その他特記事項	整備が完了次第、町発行の「広報とういん」へ掲載し、この財源が「みえ森と緑の県民税」であることも併せて周知する。

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	菰野町
------	-----------------	-----	-----

番号	区 分	事 業 名
1	基本・特別	危険伐採木搬出事業
事業費 5,924 千円（うち交付金：3,500 千円）		

1. 事業の目的	菰野町内において、伐採後の林地残材の搬出により、森林の土砂災害防止機能等を高めることを目的とする。
2. 事業の内容	間伐等により林地残材となった危険木の搬出、処理に対して助成を行う。また、危険木を搬出する際に必要な作業道の整備に対しても助成を行う。 【事業実施主体】 森林を維持管理する団体及び所有者 【事業費】 5,924 千円 【事業の規模（事業量）】 作業道 170m、間伐面積 0.6ha、材積量 226.6 m³ 【補助率】 搬出・処理 65/100、作業道整備 50/100 【事業実施期間】 平成26年6月2日～平成27年3月31日
3. 事業で期待される効果	防災、減災の観点から整備の急がれる森林について、土砂災害防止機能等を高めるために必要な対策を講じることにより、災害に強い森林づくりができる。 【事業の規模（事業量）】 作業道 170m、間伐面積 0.6ha、材積量 226.6 m³ 【事業の受益者数】 林道歩行者及び林道通行車両等
4. その他特記事項	補助金要綱等を広報誌、ホームページに記事掲載する。 また、事業成果とこれら取組の財源が「みえ森と緑の県民税」であることも広報誌、ホームページに記事掲載する。

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	菰野町
------	-----------------	-----	-----

番号	区 分	事 業 名
2	基本・特別	病虫害被害木伐採搬出事業
事業費 2,254 千円（うち交付金：1,126 千円）		

1. 事業の目的	菰野町内において、病虫害による倒木のおそれがある樹木の伐採等により、住民の生命や財産を守ることを目的とする。
2. 事業の内容	町道沿道の病虫害による松枯れやなら枯れ被害木の伐採、搬出、処理に対して助成を行う。 【事業実施主体】 森林を維持管理する団体及び所有者 【事業費】 2,254 千円 【事業の規模（事業量）】 病虫害被害木 20 本程度 【補助率】 50/100 【事業実施期間】 平成 26 年 6 月 2 日～平成 27 年 3 月 31 日
3. 事業で期待される効果	病虫害による倒木のおそれがある樹木について、交通安全の確保、被害拡大の防止のために必要な対策を講じることにより、住民の生命や財産を守ることができる。 【事業の規模（事業量）】 病虫害被害木 20 本程度 【事業の受益者数】 町内各箇所における病虫害被害木付近の住民及び道路通行車両等
4. その他特記事項	補助金要綱等を広報誌、ホームページに記事掲載する。 また、事業成果とこれら取組の財源が「みえ森と緑の県民税」であることも広報誌、ホームページに記事掲載する。

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	朝日町
------	--------------------	-----	-----

番号	区 分	事 業 名
1	基本・特別	公共施設（幼保一体化施設 あさひ園）の緑化
事業費		2,596,320 円（うち交付金：2,348,000 円）

1. 事業の目的	公共施設（幼保一体化施設 あさひ園）の園庭（運動場）を緑化することにより、環境において緑と人の関係を深める。
2. 事業の内容	【事業主体】朝日町 【事業費】2,596,320 円 【事業量】面積 1,286 m² 年間利用見込 約 500 名 【事業実施期間】平成 26 年 7 月 30 日から平成 26 年 8 月 30 日
3. 事業で期待される効果	園庭（運動場）に芝生を張り、保育を実施する際、園児に芝生に触れさせることで、緑の自然環境を大切に思う気持ちを育む。 【公共施設（幼保一体化施設）の関連芝生化】1 施設 【芝生化面積】1,286 m² 【芝生化園庭年間利用者数】約 500 名  （ 着手前写真 ）
4. その他特記事項	運動会や PTA 等の会合であさひ園から PR を行う。 事業地への看板設置を行う。

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	朝日町
------	-------------	-----	-----

番号	区 分	事 業 名
2	基本・特別	児童館への木のおもちゃ配備
事業費		52,061 円（うち交付金：48,000 円）

1. 事業の目的	幼い頃から木のおもちゃで遊ぶことで、木の肌触りや温もりを感じてもらい、森林や緑を大切に思う心を育んでもらう。
2. 事業の内容	【事業主体】朝日町 【事業費】52,061 円 【事業量】木のおもちゃ 5 セット 【事業実施期間】平成 26 年 6 月 1 日から平成 26 年 6 月 30 日
3. 事業で期待される効果	朝日町児童館では 1 日約 100 名程度の来館者があり、そのうちの 7 割が乳幼児とその保護者となっている。それらの来館者に木のおもちゃで楽しく遊んでもらうことで、木に対して親しみをもってもらい、より木を普段の生活に取り入れたり、森や緑を大切にする心が育まれると期待される。 【事業の規模（事業量）】木のおもちゃ 5 セット 【事業の受益者数】年間利用者数（見込み）100 人  （施設内状況写真）
4. その他特記事項	PTA 等の会合などで施設職員より PR を行う。 木のおもちゃに事業名記入を行う。

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	川越町
------	--------------------	-----	-----

番号	区 分	事 業 名
1	基本・特別	公共施設(北部保育所園庭芝生化事業)の緑化
事業費 4,280 千円（うち交付金：2,555 千円）		

1. 事業の目的	町の将来を担う子どもたちにより良い育成環境を提供するため、公共施設の芝生化を進めるにあたり、北部保育所の園庭を芝生化する。
2. 事業の内容	北部保育所の園庭に芝生を張り、保育を実施する際、園児に芝生にふれさせることで、緑の自然環境を大切に思う気持ちを育む。 【事業実施主体】川越町 【事業費】4,280 千円 【事業の規模（事業量）】1箇所 250 m² 【事業実施予定時期】平成26年6月1日～平成26年9月30日
3. 事業で期待される効果	川越町では子どもの育成環境の一層の充実のため、町内公共施設の芝生化を計画しています。狙いとして、保育所に芝生のスペースを設置することで園児の日常的な運動量が増加し、たくましく健康な体を育むことができるほか、自然環境面での体験的なふれあいの機会が増加します。 【事業の規模（事業量）】1箇所 250 m² 【事業の受益者数】園児数 90 名
4. その他特記事項	【事業の必要性】 子どもたちの健全育成のために必要な事業であり、また自然環境面にも配慮された事業であることから、川越町の将来を見据え、必要な事業であると考えます。 広報計画 【事業地への看板の設置】 事業地への看板設置、広報誌への記事掲載、行政番組（C-net）などで活用のPRに努める。



平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市
------	-------------	-----	----

番号	区 分	事 業 名
1	基本・特別	森林・木材利用促進フェア事業
事業費		3,700 千円（うち交付金：1,907 千円）

1. 事業の目的	平成26年に美杉町の林業を舞台にした映画「WOODJOB」が上映されることから、映画の課題となっている林業を通じて、森林の実情や森林が果たしている多面的機能の紹介、木材・木造建築や木製品等を広く市民の方々に知っていただく場を提供し、自然にふれあったり、木材の癒し効果などを感じていただけるような催しを開催する。
2. 事業の内容	・森林の実情や森林の役割、森林施業等のパネルの展示。 ・木造・木質製品の紹介や展示 ・まきストーブ等木材利用製品の展示 ・その他 ・事業実施主体：津市・実行委員会 ・事業実施予定期間：平成26年4月1日から9月15日（86日） 4月(30)5月(13)6月(9)7月(9)8月(10)9月(15)
3. 事業で期待される効果	・林業や木材に関心を持ってもらう事で、改めて木材の良さやぬくもりを感じていただく。 事業参加見込み人数 12,000 名 ・映画の公開に合わせることで、全国からの集客が見込まれる、また、映画の撮影関係のパネル展示等も予定されていることから、相当数の集客が見込まれる。
4. その他特記事項	映画の製作発表、記者会見等、三重県知事と津市長とのトッププロモーションの予定（東京） 広報津・県政だよりみえの特集（予定）

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市
------	-------------	-----	----

番号	区 分	事 業 名
2	基本・特別	森と緑の市民塾開催事業
事業費 400 千円（うち交付金：400 千円）		

1. 事業の目的	木のぬくもりや、木の良さを知ってもらうため、市内の小学生と保護者を対象として、森林や木材について学び、ふれあう場を提供する。
2. 事業の内容	・ 木とふれあう木工細工等 ・ 木工細工や丸太切り体験 ・ 事業実施主体：津市 ・ 事業実施予定期間：平成26年8月3、17日（2回）
3. 事業で期待される効果	木工細工等により、直接木に触れることで、木のぬくもりと物を作ることの楽しさを再認識していただき、将来にわたり子供たちが創造性豊かな森を育む人としてのきっかけづくりを提供する。 事業参加者数 40 組 2 名程度 2 回 80 名
4. その他特記事項	参加者を募る関係から、6月の津広報にて掲載。

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市
------	-------------	-----	----

番号	区 分	事 業 名
3	基本・特別	美里水源の森整備事業
事業費		3,870 千円（うち交付金：3,870 千円）

1. 事業の目的	美里水源の森の水源涵養林等活かして、子どもたちが自然を体験できる場を造成し、自然や環境保全を学べる場として活用し、この森を核として緑と水と文化に抱かれた心育む美しい里づくりを進める。
2. 事業の内容	美里水源の森は典型的な里山景観を呈し、かつては人の手が入った里山林の名残や地形・植生の特長を活かしつつ「水源の森」としての条件を備えた自然状態の森林の姿をめざし、自然を体験し学びながら成長する「子育ての場（森）」づくりに、地域住民や企業・団体への活動支援を行いながら森の整備を行う。 A=5.8HA(実測 8.8HA) 活動事業主体：長野流域環境保全協議会（美里総合支所） 補助率：定額 事業費内訳：基本・実施設計額 3,000 千円 森づくり体験学習 748 千円 森の恵み利用体験学習 122 千円
3. 事業で期待される効果	次世代を担う子どもたちの「子育ての場」となるような「美里水源の森」の整備を行う活動を通じ、自然保護、水源保護の重要性を啓発し、自然環境の理解と地域への愛着心を育む森となることを期待。 森林整備対象面積 A=5.8ha
4. その他特記事項	美里地区を対象とした、美里だより等による広報活動を行う。

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	4. 木の薫る空間づくり	市町名	津市
------	--------------	-----	----

番号	区 分	事 業 名
4	基本・特別	木質バイオマス利用促進事業
事業費 4,500 千円（うち交付金：4,500 千円）		

1. 事業の目的	間伐等で発生する林地残材等について、再生可能エネルギーである木質バイオマスエネルギー利用を図るため、採算の合いにくい林地からの搬出・運搬に関し、運搬経費の一部を支援することで、森林所有者・林業事業体への意識啓発、取組拡大、利用量の増加を図る。また、林地残材の減少を図り河川等に流出しない森林づくりにもつなげる。
2. 事業の内容	バイオマス発電に供することを目的に、流域単位で一定量の間伐材や端材等を山林からの搬出・運搬に際し、市場等木質バイオマス利用施設への運搬経費について、適切な額を補助する。 事業実施主体：認定林業事業体 補助率：定額 事業実施予定期間：平成26年4月1日から平成27年3月31日
3. 事業で期待される効果	採算が合わないことから放置されがちな林地残材の有効利用が図られるように森林所有者・林業事業体等を啓発し、意欲を高め、運搬経費を支援することで、木質バイオマスエネルギー利用が促進される。併せて林地残材の減少が図られ、河川等に流出を出さない森林づくりも図れる。 林地残材搬出材積 3,750m³
4. その他特記事項	事業結果を市広報に掲載する。

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	4. 木の薫る空間づくり	市町名	津市
------	--------------	-----	----

番号	区 分	事 業 名
5	基本・特別	公共建築物等の県産材による木造・木質化
事業費 7,000 千円（うち交付金：7,000 千円）		

1. 事業の目的	森林を支える社会づくりや木の薫る空間づくりを目指すため、公共空間における木造・木質化に資する。
2. 事業の内容	公共空間における木造・木質化に資する。 新斎場内（什器備品の木質化 机・いす等 1.0 式 544 個（机 84 台・いす 460 脚））予定
3. 事業で期待される効果	市民等の暮らしの場に木の薫る空間づくりを図ることで、自然との調和を図り利用者に木のぬくもりや癒し効果を感じていただく。 施設利用予定人数 30 人～50 人/日×360 日＝10,000 人～18,000 人 ・特定事業契約者の提案により、地域産材を使用することとなっている。その仕様による机、いす等の発注を行ったのち納品となる。
4. その他特記事項	備品へみえ森と緑の県民税事業によることを表示のシール添付等を行い、市民に対し木材利用の重要性を啓発する。

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	4. 木の薫る空間づくり	市町名	津市
------	--------------	-----	----

番号	区 分	事 業 名
6	基本・特別	木材利用促進事業
事業費 3,500 千円（うち交付金：3,500 千円）		

1. 事業の目的	住宅や公共施設の木造・木質化を図り、それをきっかけにして、木造・木質化による癒し効果の普及啓発を図る。地域産材を利用することで、津市林業への理解を深める。
2. 事業の内容	木造住宅等の主要部材を一定以上利用した公共的施設や個人住宅を対象に補助金を交付する。主要部材に地域産材を個人住宅で 12 立方メートル以上、公共的施設で 20 立方メートルまたは 60%以上使用していること。 公共的施設は 500,000 円、住宅は 300,000 円を一律補助する。 事業実施主体 津市 補助率 定額
3. 事業で期待される効果	市民等の暮らしの場に木の薫る空間づくりを図ることで、住人の方、施設を利用する方に癒し効果を感じていただくとともに、広報などを通じて一般市民へのPRし、住宅展示に協力していただくなど、木造・木質化のよさをPRする。また、地域産材の利用により津市林業への理解が深まる。 公共的施設 1 棟 個人住宅 10 棟
4. その他特記事項	津市広報による募集 住宅の展示PRについては、建築中住宅協へ税の幟を立てることにより、外観展示を行う。（日を定めて展示会は、行わない）そのため、助成対象住宅は、建築中・建築後の写真を全棟撮影し市及び県事務所のホームページに写真等を掲載する。

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	松阪市
------	-----------------	-----	-----

番号	区 分	事 業 名
1	基本・特別	里山の森林安全安心対策事業
事業費 7,614 千円（うち交付金：7,614 千円）		

1. 事業の目的	集落や公共施設周辺の森林で、森林の持つ公益的機能が発揮されない状態にある森林を対象に、森林所有者や地域の自主防災組織と連携し、集落の安全と安心を確保することを目的に森林整備を行う。
2. 事業の内容	該当地域において関係者と連携して現地調査を行い、森林の境界の確認・測量及び間伐等の森林整備を行う。 【事業実施主体】松阪市 【事業費】7,614 千円 【事業の規模（事業量）】森林整備面積 27ha 【事業実施予定期間】平成 26 年 6 月～平成 27 年 3 月
3. 事業で期待される効果	集落周辺の森林が整備されることにより、地域住民の生活環境の向上や道路の安全性が確保される。また、地域の自主防災組織と連携することにより、地域の里山を見直すきっかけとなり、継続的な取組が期待できる。 【事業の規模（事業量）】森林整備面積 27ha 【事業の受益者数等】整備によって安全と安心が確保される戸数 30 戸、墓地、国道
4. その他特記事項	報道機関への資料提供、行政チャンネルの活用、事業地への看板設置

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	4. 木の薫る空間づくり	市町名	松阪市
------	--------------	-----	-----

番号	区 分	事 業 名
2	基本・特別	都市公園整備事業
事業費 4,160 千円（うち交付金：4,160 千円）		

1. 事業の目的	公共空間である公園において市産材の木材利用を促進し、木材と市民の関係を深める。
2. 事業の内容	都市公園内の東屋を市産材で木質化する。 【事業実施主体】 松阪市 【事業費】 4,160 千円 【事業の規模（事業量）】 東屋 1 棟（延床面積 16.0m²、市産材使用量 2.149m³） 【事業実施予定期間】 平成 26 年 6 月～平成 27 年 3 月
3. 事業で期待される効果	多くの市民に利用される公園において、市産材で東屋を建築することにより、市民が木材とふれあう機会が増え、木材の活用や森林づくりへの理解が深まる。 【事業の規模（事業量）】 虹が丘 1 号公園東屋 1 棟（延床面積 16.0m²、市産材使用量 2.149m³） 【事業の受益者数等】 虹が丘町受益戸数 590 戸、1,722 人 （平成 26 年度より市内の公園で継続的に実施予定。）
4. その他特記事項	報道機関への資料提供、行政チャンネルの活用、事業地への看板設置

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	松阪市
------	-------------	-----	-----

番号	区 分	事 業 名
3	基本・特別	森林環境学習事業
事業費 2,800 千円（うち交付金：2,800 千円）		

1. 事業の目的	市内の小学校の教室等を松阪地域の木材を使用して木質化し、児童を対象に森林の持つ機能や木材の特性についての「木育」を実施し、将来の森林の『担い手』を育成する。
2. 事業の内容	松阪地域の木材を使用し小学校の教室を木質化する。また、小学生を対象に森林環境保全や森林整備についての森林環境教育を実施する。 【事業実施主体】松阪市 【事業費】2,800 千円 【事業の規模（事業量）】 小学校の教室等の木質化及び森林環境教育：1 校 木質化する教室数：普通教室 1 箇所、面積 66m²、市産材使用量 0.2m³ 森林環境教育の実施回数：小学 5 年生を対象に 2 回実施（児童数 14 人） 【事業実施予定期間】平成 26 年 6 月～平成 27 年 3 月
3. 事業で期待される効果	児童達が、市産材で木質化された教室で学ぶことにより、木材とのふれあいが進む。また、森林環境学習をすることにより、木材の活用や森林づくりへの理解が深まる。 【事業の規模（事業量）】 小学校の教室等の木質化及び森林環境教育：1 校 木質化する教室数：普通教室 1 箇所（面積 66m²、市産材使用量 0.2m³） 【事業の受益者数等】小学校：1 校（児童数 70 人、うち 5 年生 14 人） （平成 26 年度より市内の 36 校で継続的に実施予定。）
4. その他特記事項	報道機関への資料提供、行政チャンネルの活用、事業地への看板設置

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	4. 木の薫る空間づくり	市町名	松阪市
------	--------------	-----	-----

番号	区 分	事 業 名
4	基本・特別	保育園管理運営事業
事業費 1,353 千円（うち交付金：1,353 千円）		

1. 事業の目的	市内の保育園の机・椅子を木質化し、木材と市民の関係を深める。
2. 事業の内容	市内の保育園の机・椅子を市産材で木質化する。 【事業実施主体】 松阪市 【事業費】 1,353 千円 【事業の規模（事業量）】 保育園：1 園（机：10 脚 椅子：45 脚）、園児数 41 人 【事業実施予定期間】 平成 26 年 6 月～平成 27 年 3 月
3. 事業で期待される効果	園児達が、市産材で木質化された机・椅子にふれることで、木材とのふれあいが進む。 【事業の規模（事業量）】 保育園：1 園（机：10 脚 椅子：45 脚）、園児数 41 人 【事業の受益者数等】 保育園：1 園、園児数 41 人 （平成 26 年度より市内の 22 園で継続的に実施予定。）
4. その他特記事項	報道機関への資料提供、行政チャンネルの活用、事業地への看板設置

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	4. 木の薫る空間づくり	市町名	松阪市
------	--------------	-----	-----

番号	区 分	事 業 名
5	基本・特別	森林公園管理運営事業
事業費 908 千円（うち交付金：908 千円）		

1. 事業の目的	地域の身近にある市民の保健、休養の場として活用されている松阪市森林公園において、市産材で木質化することにより、森林と市民の関係を深める。
2. 事業の内容	松阪市森林公園の施設内のテントサイトを市産材で木質化する。 【事業実施主体】 松阪市 【事業費】 908 千円 【事業の規模（事業量）】 テントサイトの木質化：4 棟（面積 $14.5\text{m}^2 \times 4 \text{ 棟} = 58.0\text{m}^2$、市産材使用量 $0.47\text{m}^3 \times 4 \text{ 棟} = 1.88\text{m}^3$） 【事業実施予定期間】 平成 26 年 10 月～平成 27 年 3 月
3. 事業で期待される効果	多くの市民に利用される森林公園において、市産材でテントサイトを建築することにより、市民が木材とふれあう機会が増え、木材の活用や森林づくりへの理解が深まる。 【事業の規模（事業量）】 テントサイトの木質化：4 棟（面積 $14.5\text{m}^2 \times 4 \text{ 棟} = 58.0\text{m}^2$、市産材使用量 $0.47\text{m}^3 \times 4 \text{ 棟} = 1.88\text{m}^3$） 【事業の受益者数等】 松阪市森林公園来園者数：108,271 人
4. その他特記事項	報道機関への資料提供、行政チャンネルの活用、事業地への看板設置

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大台町
------	-----------------	-----	-----

番号	区 分	事 業 名
1	基本・特別	ほっとする道ばた森林整備事業
事業費 9,221 千円（うち交付金：8,075 千円）		

1. 事業の目的	宮川と道路間にある人工林は、国の林業施策である「森林・林業再生プラン」による、集約化や路網整備による効率化を目指した林業経営は困難な立地環境であり、間伐による経済性を望むことは難しく、今後もこのような取扱の困難な林地は放置される可能性が高い。 道路沿いに整備されている電線は、台風による風倒木で分断され停電を招くことも多く、災害対策として有効であると考えられる。 さらに、宮川への土砂流出防止といった効果も期待でき、これにより、水質日本一を取り戻すことを目指していく。
2. 事業の内容	宮川と道路間にある人工林の整備を行う。 森林の状況に応じて間伐・植栽（獣害ネットによる獣害対策）等を行っていく。 【事業実施主体】大台町 【事業費】9,221 千円（うち交付金：8,075 千円） 【事業量】2ha 【事業予定期間】平成26年4月～平成27年3月 【今後の計画】みえ森と緑の県民税を用いて、5カ年に渡り、年間2haの整備を実施する計画である。
3. 事業で期待される効果	道路沿いに整備されている電線は、台風による風倒木で分断され停電を招くことも多く、災害対策として有効であると考えられる。 さらに、宮川への土砂流出防止といった効果も期待でき、これにより、水質日本一を取り戻すことを目指していく。 【事業量】2ha 【事業の受益者数】整備によって生活環境が向上する集落の戸数及び人数 299 戸 648 人
4. その他特記事項	事業完了後、町の広報誌にて周知を行う。

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大台町
------	-----------------	-----	-----

番号	区 分	事 業 名
1	基本・特別	水道水源林の公有林化
事業費 16,776 千円（うち交付金：16,776 千円）		

1. 事業の目的	水道水源林は生活に欠かさない水を安定供給する役割を有している。 大台町最大の水源地である大熊谷流域の森林（人工林を除く）の公有林化を行い積極的に管理を行っていく。人工林については生産林として間伐等の森林整備を実施しているため購入しない。
2. 事業の内容	みえ森と緑の県民税を活用し、平成26年度においては、大台町最大の水源地である大熊谷流域の森林（人工林を除く）681haの内167haの購入を行う。 【事業実施主体】大台町 【事業費】16,776 千円（うち交付金：16,776 千円） 【事業量】167ha 【事業予定期間】平成26年4月～平成27年3月 【今後の計画】みえ森と緑の県民税特別配分枠を活用し、水源地の主要箇所を早期に公有林化し、適切な管理を行う。将来的には、全流域を公有林化し、受光伐等の施業を実施しながら、水源地として管理していく。
3. 事業で期待される効果	森林には洪水の防止や水質の浄化、水資源の貯留機能といった水源涵養機能がある。この効果を最大限に発揮するためには適切な管理が必要である。 よって大台町最大の水源地である大熊谷流域の森林（人工林を除く）の公有林化を行い適切な公的管理を行っていく。 これにより水源涵養機能はもとより、生物多様性の保全といった効果も期待できる。 【事業量】167ha 【大熊谷給水人口】3,471 人（大台町給水人口 10,738 人のうち最大である）
4. その他特記事項	事業完了後、町の広報誌にて周知を行う。

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	多気町
------	-------------	-----	-----

番号	区 分	事 業 名
1	基本・特別	県産材を活用した学校机・イス整備事業
事業費 3,790 千円（うち交付金：3,790 千円）		

1. 事業の目的	木材は、柔らかで温かみのある感触を有するとともに、室内の温度変化を緩和させ、快適性を高める等優れた性質を備えている。町内の小学生に県産材の木材について学びふれあう機会を提供するとともに、温かみと潤いのある教育環境づくりを進める。
2. 事業の内容	6年間で町内各小学校へ県産材（杉・桧）を活用した机・イスの整備を行う 【事業実施主体】多気町 【事業費】30,320 円×125 セット＝3,790,000 円 【事業量】町内全小学校の27年4月入学生分 125 セット 【事業実施予定期間】平成26年8月～平成27年3月
3. 事業で期待される効果	○県産材の木材について学びふれあう機会の提供 ○温かみと潤いのある教育環境の整備 ○感受性豊かな子どもたちを育てる ○室内環境の快適化 ○木材利用による環境負荷低減や森林の保全、木の文化の継承などについて学習するきっかけづくり 【事業量】町内全小学校の27年4月入学生分 125 セット 【事業の受益者数】27年4月入学の小学1年生 125 人
4. その他特記事項	○町の広報へ机・イスの整備について記事掲載

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	明和町
------	-------------	-----	-----

番号	区 分	事 業 名
1	基本・特別	学校木製品購入事業
事業費 7,712 千円（うち交付金：6,294 千円）		

1. 事業の目的	小中学校の学校備品（授業用机や椅子等）を三重県産木製品に取り換えることで、森林・林業への理解を深め、森林や緑を大切に思う温かい心を育む。 木のぬくもりを通して身近に森林や緑とふれあう機会を提供する。
2. 事業の内容	小中学校における森林環境教育の一環として、学校備品（授業用机や椅子等）を順次、木製品に取り換える。 【事業実施主体】明和町 【事業費】7,712 千円 【事業量】小学校の新入生用の机・椅子：188 組 【事業実施予定期間】平成 26 年 10 月から平成 27 年 3 月
3. 事業で期待される効果	木製品の日常的な使用を通して木材とのふれあいが進む。 日常を通して森林や緑とふれあう場を提供できる。 森林や緑の大切さ、地球温暖化問題等への理解を深めるきっかけとなる。 【事業量】小学校の新入生用の机・椅子：188 組 【事業の受益者数】小学校の新入生：188 人
4. その他特記事項	事業が完了次第、町広報紙への掲載により広く周知する。その際はこの事業の財源が、「みえ森と緑の県民税」であることも併せて周知する。

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	4. 木の薫る空間づくり	市町名	伊勢市
------	--------------	-----	-----

番号	区 分	事 業 名
1	基本・特別	公園整備事業
事業費 8,205 千円（うち交付金：8,205 千円）		

1. 事業の目的	
伊勢市楠部町地内の倉田山公園内に県産材を活用した東屋を設置し、木の薫る憩いの場を提供する。このことにより、市民の木への関心を深め、県民・市民全体で森林を支える社会づくりを推進する。	
2. 事業の内容	
東屋敷地整備として、木製柵・木製歩道・芝張・木製机・木製椅子等の設置を計画している。敷地整備面積 72 m²。 【事業実施主体】伊勢市 【事業費】8,205 千円 【事業量】木製東屋 1 棟(約 25 m²) 【整備した東屋の年間利用者数】 約 12,000 人（見込み）	
3. 事業で期待される効果	
- 倉田山公園の平成 22 年・23 年の年間平均来園者は約 40,000 人であり、来園者の 3 割が東屋を訪れるとすると、年間に約 12,000 人の利用者が見込まれる。 - 災害時には野球場が避難所となるため、休息の場として利用してもらえる。 【事業量】木製東屋 1 棟(約 25 m²) 【整備した東屋の年間利用者数】 約 12,000 人（見込み）	 （ 現 況 写 真 ）
4. その他特記事項	
- 倉田山公園は通常時は野球場及び多目的広場であるが、災害時は一時避難所施設及び防災関連機関活動拠点の位置づけとなっており、伊勢市の消防庁舎も隣接する予定である。 - 当事業で行った内容について、市で発行する活動報告書等で市民に周知していく予定。	

第6号様式（その2の2）

基金積立に係る事業計画概要書（当初・実績）

市町名：伊勢市

1. 事業計画

事業実施 （予定）年度	事業の内容	事業費 （千円）	財源区分（千円）					
			実施年度 県交付金		市 町			その他
			基 本	特 別	基 金 積立金	一 般 財 源	その他	
平成 30 年度	小中学校新築及び改築による校内の木造化	5,000	1,000	0	4,000	0	0	0
合 計		5,000	1,000	0	4,000	0	0	0

2. 年度別積立計画

（単位：千円）

年 度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	合 計
基本配分枠交付金の 基金への積立	1,000	1,000	1,000	1,000	0	4,000
特別配分枠活用事業 申請予定額	0	0	0	0	0	0
合 計	1,000	1,000	1,000	1,000	0	4,000

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鳥羽市
------	-----------------	-----	-----

番号	区 分	事 業 名
1	基本・特別	暮らしに身近な森林整備事業
事業費 3,983 千円（うち交付金：3,983 千円）		

1. 事業の目的	
荒廃し放置された里山や、集落周辺において倒木などによる危険がある森林において整備を行うことによる生活環境の保全と安全を確保し、緩衝林などの整備を行い獣害対策も図ります。	
2. 事業の内容	
市内の森林は、生活スタイルの変化や所有者の高齢化などにより適正な管理が行われず荒廃が著しく進んでいます。こうした中、放置された里山や集落周辺において森林整備を実施するとともに、里山と農地が隣接している箇所については緩衝林の整備を行います。 ・事業実施主体 鳥羽市 ・事業費 3,983 千円 ・事業の規模 7.0ha ・事業実施予定期間 平成26年6月1日～平成27年3月31日	
3. 事業で期待される効果	
里山地域や集落周辺においては、地域住民の暮らしに関わりの深い森林と考え生活環境の保全や維持向上のため実施していきます。また、近年市内全域においても野生鳥獣の目撃や出没が頻繁になり、特に里山と農地が隣接している箇所については鳥獣被害も著しいことから緩衝林を整備し、森林病虫害の発生抑制などの効果があります。 ・事業の規模 7.0ha ・事業の受益者数 整備によって生活環境が向上する集落の個数及び人数 19戸 67人	
4. その他特記事項	
当事業の取組みは、税の使途などを含め、市発行の広報誌や行政放送などを通じて紹介していきます。	



（ 緩衝林整備予定箇所 ）

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鳥羽市
------	-----------------	-----	-----

番号	区 分	事 業 名
2	基本・特別	暮らしに身近な松林防除管理事業
事業費 330 千円（うち交付金：330 千円）		

1. 事業の目的	
鳥羽市の離島神島には、地域住民から親しまれている松林があり、防潮・防風など暮らしに密接しているほか、年間約2万人が訪れるなど景勝地となっている。しかし、依然として森林病虫害被害が発生していることや手入れされずに枝が広がり、集落に覆いかぶさるなどの危険性があるほか、冬期の強風時に枝等が飛散して人身に危険を及ぼすことが懸念されている。 そこで、当該交付金を活用し、危険木や病虫害被害木の伐倒駆除を実施することにより、松林の適切な管理を行い、地域住民や観光客の安全を確保する。	
2. 事業の内容	
松林内の危険木や病虫害被害木の伐倒駆除を実施する。 実施主体：鳥羽市 事業費：330,000 円 事業量：1.6ha（18.5m³） 実施区域：鳥羽市神島町地内 実施期間：平成26年11月～平成27年3月	
3. 事業で期待される効果	
集落周辺における危険木や病虫害被害木の伐倒駆除を実施することで、台風時や冬期の強風時による倒木被害の防止や病虫害防除被害の拡大防止につながるとともに、観光客や地域住民の暮らしの安全を確保する。 事業量：1.6ha（18.5m³） 事業受益者：神島町民 175 世帯 403 人 神島観光客数 約 20,000 人	
4. その他特記事項	
当事業の取組みは、税の使途などを含め、市発行の広報誌や行政放送などを通じて紹介していきます。	



平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	4. 木の薫る空間づくり	市町名	鳥羽市
------	--------------	-----	-----

番号	区 分	事 業 名
1	基本・ 特別	鳥羽市農水産物直売所木の薫る空間づくり事業
事業費		4,209 千円（うち交付金：4,209 千円）

1. 事業の目的	公共施設内で使用する木質テーブル及び薪ストーブを整備し、幅広い用途での木材利用を推進する。
2. 事業の内容	農水産物の価格低迷、就業者の高齢化・減少といった課題を抱える第1次産業の支援や地域の活性化を目的に平成26年10月完成を目指して鳥羽市農水産物直売所の整備を進めている。 同施設内で使用する、木製テーブル・木製ベンチ及び薪ストーブを整備することで建築資材から木質エネルギーなどの幅広い用途での木材利用を推進する。 ・事業実施主体 鳥羽市 ・事業費 4,209 千円 ・事業の規模 木製テーブル 10 基、木製ベンチ 30 基、薪ストーブ 1 基 県産材使用量（見込み）12m³ ・事業実施予定期間 平成26年6月1日～平成26年9月30日
3. 事業で期待される効果	年間412万人の観光客が訪れる当市の玄関口である鳥羽駅に隣接する鳥羽市農水産物直売所で使用する木製テーブル・木製ベンチなどの木質製品を通して、木の薫る空間づくりや薪ストーブを設置することで、木質エネルギー利用など木に触れることができると考える。 また、当該施設は年間17万人の入込客数を見込んでおり、多くの方が利用する公共施設であることから方針でも示されている県民全体で森林を支える社会づくりに大いに貢献できる。 ・事業の規模 木製テーブル 10 基、木製ベンチ 30 基、薪ストーブ 1 基 県産材使用量（見込み）12m³ ・事業の受益者 年間利用者数（見込み）17万人
4. その他特記事項	当事業の取組みは、税の使途などを含め、市発行の広報誌や行政放送などを通じて紹介していきます。

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	1. 土砂や流木を出さない森林づくり	市町名	志摩市
------	--------------------	-----	-----

番号	区 分	事 業 名
1	基本・特別	里山関連整備事業
事業費 3,878 千円（うち交付金：3,878 千円）		

1. 事業の目的	
志摩市の水源地である神路ダムの水源林区域内において、一部間伐材等で堰き止められている水路があるため、その間伐材等支障物の撤去により、水源林から水源地ダムへの円滑な水の供給と水源林区域の保全を目的とする。	
2. 事業の内容	
間伐材等で堰き止められている水路において、支障となっている間伐材等の撤去及び周辺整備。 【事業実施主体】 志摩市 【事業費】 3,878 千円 【事業の規模（事業量）】 支障木除去区域面積 15,000 m² 【事業実施予定期間】 平成 26 年 9 月～平成 27 年 2 月	
3. 事業で期待される効果	
間伐材等により堰き止められている水源林区域の水路において支障間伐材等の撤去により、水源林区域の環境改善が期待できる。また、この事業を行うことにより水源林の大切さを市民全体に啓発することができる。 【事業の規模（事業量）】 支障木除去区域面積 15,000 m² 【事業の受益者数】 恩恵を受ける農地面積 約 20ha この水源地から水道の供給を受ける市民の数 53,707 人	
4. その他特記事項	
事業結果等の広報・・・平成 26 年度の志摩市広報紙に掲載予定	



平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	志摩市
------	-----------------	-----	-----

番号	区 分	事 業 名
2	基本・特別	里海・里山保全事業
事業費 3,075 千円（うち交付金：2,015 千円）		

1. 事業の目的	志摩市は、全域が伊勢志摩国立公園内に位置し、松やウバメガシなどの広葉樹が多く植生し、志摩市の景観を形成している。また、海岸沿いには、松林の公園や景勝地があり、防風、飛砂防止など地域の暮らしを守っているほか、多くの人が訪れている。しかし、依然として、森林病害虫による被害が発生しており、森林病害虫の被害防止対策を施さなければ、強風時の倒木や枯れ枝の落下により、志摩市を訪れてくれている人たちや住民の人身に危険を及ぼすことが懸念される。このことから、当該交付金を活用し、松林の公園や景勝地にある松を森林病害虫の被害から守るための対策を施し、志摩市を訪れてくれる人や住民の通行の安全及び住民の暮らしの安全を確保するとともに、景観形成の維持を図る。
2. 事業の内容	森林病害虫による松枯れを予防するために樹幹注入を行う。 実施主体：志摩市 事業費：3,075 千円 事業量：2.4ha（樹幹注入本数：267 本） 事業実施期間：平成 26 年 11 月～平成 27 年 3 月
3. 事業で期待される効果	森林病害虫による松枯れの被害を防止することで、強風等による倒木や枯れ枝の落下から観光客や住民の通行の安全及び住民の暮らしの安全を守るとともに、景観形成の維持につながる。 事業量：2.4ha（樹幹注入本数：267 本） 事業受益者：松林沿岸部の地域住民 1,284 世帯 3,314 人 志摩市観光客数 4,077,755 人 
4. その他特記事項	事業を実施したところに、看板を設置し、財源として「みえ森と緑の県民税」が活用されたことを表示する。

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	4. 木の薫る空間づくり	市町名	度会町
------	--------------	-----	-----

番号	区 分	事 業 名
1	基本・特別	大久保地内屋外木造トイレ整備事業
事業費 16,000 千円（うち交付金：3,725 千円）		

1. 事業の目的	公共衛生環境の充実及び木材利用の推進。
2. 事業の内容	屋外木造トイレの建設 【事業実施主体】 度会町 【事業費】 16,000 千円 【事業の規模（事業量）】 屋外木造トイレ1棟（25 m²）、県産材使用量 7m³ 【事業実施予定期間】 平成26年9月～平成27年3月
3. 事業で期待される効果	国束寺等の観光スポット周辺にトイレを整備することで地域振興を図る。 【事業の規模（事業量）】 屋外木造トイレ1棟（25 m²） 県産材使用量 7m³ 【事業の受益者数】 年間利用者数（見込み）1,500 人  （ 予定地現況写真 ）
4. その他特記事項	施設に交付金使用の旨を掲示するとともに、町広報紙等により周知する。

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	度会町
------	--------------------	-----	-----

番号	区 分	事 業 名
2	基本・特別	宮リバー度会パーク第2チビッコ広場芝張事業
事業費 921 千円（うち交付金：921 千円）		

1. 事業の目的	住民に身近な公園を緑化することで、緑と親しむ環境を整備する。
2. 事業の内容	公園芝生化の測量、設計 【事業実施主体】 度会町 【事業費】 921 千円 【事業の規模（事業量）】 芝生化面積 2,000 m² 【事業実施予定期間】 平成 26 年 6 月～平成 27 年 3 月
3. 事業で期待される効果	広場の地面を雨などから防護するとともに、利用者が緑に親しむ環境を整備する。 【事業の規模（事業量）】 芝生化面積 2,000 m² 【事業の受益者数】 年間利用者数（見込み）100,000 人 
4. その他特記事項	施設に交付金使用の旨を掲示するとともに、町広報紙等により周知する。

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大紀町
------	-----------------	-----	-----

番号	区 分	事 業 名
1	基本・特別	生活環境林整備事業
事業費		3,000 千円（うち交付金：3,000 千円）

1. 事業の目的	人家裏や通学路沿いの倒木等の恐れのある危険木を除去し、通常の暮らしの安全を図る。
2. 事業の内容	倒木の恐れがある人家裏や通学路等の危険木除去 【事業実施主体】 大紀町 【事業費】 3,000 千円 【事業の規模（事業量）】 危険木除去本数：360 本 【事業実施予定期間】 平成 26 年 12 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日
3. 事業で期待される効果	倒木の恐れがある人家裏や通学路等の危険がなくなり、暮らしの安全が期待できる。 【事業の規模（事業量）】 危険木除去本数：360 本 【事業の受益者数】 整備によって生活環境が向上する集落の戸数 及び人数 200 戸 1,000 人 
4. その他特記事項	町広報誌において、事業結果等を掲載する。

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	1. 土砂や流木を出さない森林づくり	市町名	大紀町
------	--------------------	-----	-----

番号	区 分	事 業 名
2	基本・特別	溪流倒木等処理事業
事業費 3,418 千円（うち交付金：3,418 千円）		

1. 事業の目的	
以前の台風、豪雨等によって発生した山間部溪流沿いの倒木、流木は、今もなお手つかず状態で放置されているが、次期豪雨の際には下流域へ流出する可能性があり、そのことにより自然災害が増幅することも予想されるので、倒木、流木の伐採・撤去を行うことにより、自然災害の拡大化を抑制する。	
2. 事業の内容	
山間部溪流沿いの危険倒木・流木を伐採、撤去する（県事業以外の小規模箇所対象）。 【事業実施主体】大紀町 【事業費】3,418 千円 【事業の規模（事業量）】倒木等除去本数：340 本 【事業実施予定期間】平成 26 年 12 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日	
3. 事業で期待される効果	
今後発生する台風や豪雨の際に、下流域での流木の衝突や橋梁への堆積による危険が予想されるが、事業（県事業以外の小規模箇所対象）を実施することにより、流木が発生しにくくなり、住民の安全性が拡大することが期待される。 【事業の規模（事業量）】倒木等除去本数：340 本 【事業の受益者数】整備によって生活環境が向上する集落の戸数 及び人数 500 戸 1,500 人	
4. その他特記事項	
町広報誌において、事業結果等を掲載する。	



平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	大紀町
------	-------------	-----	-----

番号	区 分	事 業 名
3	基本・特別	木材利用促進・普及補助金
事業費 100 千円（うち交付金：100 千円）		

1. 事業の目的	イベントを通じて、直に木に触れながら森林の必要性を理解してもらう。
2. 事業の内容	木工教室の開催。 【事業実施主体】大紀森林組合 【事業費】100 千円 【事業の規模（事業量）】木工教室 2 回 【事業実施予定期間】平成 26 年 12 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日
3. 事業で期待される効果	イベントに集まる子ども達が木に親しむ良い機会となり、森林の必要性を肌で感じる事によって、将来的に森林を支える礎となる。 【事業の規模（事業量）】木工教室 2 回 【事業の受益者数】参加者数（見込み）60 人
4. その他特記事項	町広報誌において、事業結果等を掲載する。

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	南伊勢町
------	-----------------	-----	------

番号	区 分	事 業 名
1	基本・特別	竹林伐採整備事業
事業費 6,674 千円（うち交付金：6,674 千円）		

1. 事業の目的	手入れの行われていない放置竹林の皆伐を行い、竹以外の植物の生育を促進させ、保水能力の低下を防ぎ土砂災害の軽減を図る。また、生活環境の向上、里山の景観の保全を図る。
2. 事業の内容	人家裏等で繁茂している放置竹林の全面的な伐採を行う。 【事業主体】 南伊勢町 【事業費】 6,674 千円 【事業の規模（事業量）】 竹林整備面積 1.5ha 【事業実施予定期間】 平成26年6月15日～平成27年3月31日
3. 事業で期待される効果	放置竹林の整備を行うことにより、造林地や農地、里山への拡大・侵入を防止することができ、本来の里山の環境を取り戻し、水源涵養機能の充実や生活環境の向上が期待できる。 【事業の規模（事業量）】 竹林整備面積 1.5ha 【事業の受益者数】 整備によって生活環境が向上する集落の戸数及び人数 14戸 35人 
4. その他特記事項	町広報誌等でのPRを行う。

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	4. 木の薫る空間づくり	市町名	南伊勢町
------	--------------	-----	------

番号	区 分	事 業 名
1	基本・特別	統合保育所建設事業備品購入
事業費		2,264 千円（うち交付金：2,264 千円）

1. 事業の目的	南伊勢町では、町内の2つの保育所の統合を計画している。この保育所を木造で建築し、机、椅子等の備品も木製品とすることで木材利用を推進することとともに、木造製品の良さをPRする。
2. 事業の内容	少子高齢化が進行し、出生数も下降している当町において、町内の2保育所の統合を計画しており、平成27年度から開所を目指して、統合保育所の新設を実施する。 【事業主体】 南伊勢町 【事業費】 2,264 千円 【事業の規模（事業量）】 スタッキングテーブル 17 台、イス 65 台、県産材使用量 0.72m³ 【事業実施予定期間】 平成 26 年 6 月 15 日～平成 27 年 3 月 31 日
3. 事業で期待される効果	統合保育所を木造にし、机、椅子等の備品も木製品とすることで、児童に対する木育を進めることができ保護者に対しても木造建築及び木製品の良さをPRできる。 さらに、運動会などのイベントが年間2回以上開催され、地域住民に対しても普及効果が期待できる。 【事業の規模（事業量）】 スタッキングテーブル 17 台、イス 65 台、県産材使用量 0.72m³ 【事業の受益者数】 導入したテーブル・イスを使用する園児数（見込み） 60 人
4. その他特記事項	町広報誌等に完成後の建物や備品を記載し木造建築、木製品の良さをPRする。

第6号様式（その2の2）

基金積立に係る事業計画概要書（当初・実績）

市町名：玉城町

1. 事業計画

事業実施 （予定）年度	事業の内容	事業費 （千円）	財源区分（千円）					
			実施年度 県交付金		市 町			その他
			基 本	特 別	基 金 積立金	一 般 財 源	その他	
平成 30 年度	多くの県民に利用される町営温泉施設へ木質ペレットボイラーを導入することで、木材利用の促進と森林の必要性を県民に理解してもらう。 事業実施主体：玉城町 事業費：19,208 千円 年間利用者数（見込み）：7 万 2 千人	19,208	4,775	0	14,433	0	0	0
合 計		19,208	4,775	0	14,433	0	0	0

2. 年度別積立計画

（単位：千円）

年 度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	合 計
基本配分枠交付金の 基金への積立	2,845	3,400	3,400	4,788	0	14,433
特別配分枠活用事業 申請予定額	0	0	0	0	0	0
合 計	2,845	3,400	3,400	4,788	0	14,433

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	伊賀市
------	-------------	-----	-----

番号	区 分	事 業 名
1	基本・特別	伊賀市ウッドスタート事業
事業費 2,305 千円（うち交付金：2,305 千円）		

1. 事業の目的	「木育」の推進。 古くから「木」が身近にある伊賀市では、健やかな子どもの成長と地球環境の維持に役立つ適切な木材の利用推進をはかる必要があります。そのため、「木育」のきっかけとして「ウッドスタート事業」を行います。 伊賀市にあっては、「木育」×「食育」を関連して進めて行き、地域そのものの価値を高める必要があります。									
2. 事業の内容	・「木育」×「食育」を関連させた事業として、親子ともに木のぬくもりを共有できる物として1歳半健診の時に、健康推進課による「木育、食育」にあわせて、木製（伊賀産材）のスプーンをプレゼントする。そして、3歳児健診の時には、幼児に対する「木育」に合わせて、自分で使える木のお箸をプレゼントする。 ・また、子ども自身が存分に木に触れてもらえる機会を作るため、子育て支援センター等に木のおもちゃ（伊賀産材）を導入する。 【事業実施主体】伊賀市 【事業費】2,305 千円 【事業の規模（事業量）】 <table border="0"> <tr> <td>木のスプーン</td> <td>1歳半健診時</td> <td>704人（見込み）</td> </tr> <tr> <td>木のお箸</td> <td>3歳児健診時</td> <td>734人（見込み）</td> </tr> <tr> <td>木の積み木等配置</td> <td>子育て支援センター等</td> <td>9箇所（年間見込利用者数 16,337組）</td> </tr> </table>	木のスプーン	1歳半健診時	704人（見込み）	木のお箸	3歳児健診時	734人（見込み）	木の積み木等配置	子育て支援センター等	9箇所（年間見込利用者数 16,337組）
木のスプーン	1歳半健診時	704人（見込み）								
木のお箸	3歳児健診時	734人（見込み）								
木の積み木等配置	子育て支援センター等	9箇所（年間見込利用者数 16,337組）								
3. 事業で期待される効果	乳幼児期からの親子の間の愛情や家族とのふれあいを通じた「木育」「食育」を組み合わせた健全育成他の森と緑の県民税事業で取り組む、教育現場での森林教育につながる。 【事業の規模（事業量）】 <table border="0"> <tr> <td>木のスプーン</td> <td>1歳半健診時</td> <td>704人（見込み）</td> </tr> <tr> <td>木のお箸</td> <td>3歳児健診時</td> <td>734人（見込み）</td> </tr> <tr> <td>木の積み木等配置</td> <td>子育て支援センター等</td> <td>9箇所（年間見込延べ利用者数 16,337組）</td> </tr> </table> 【事業の受益者数】乳幼児及びその保護者 1,438人	木のスプーン	1歳半健診時	704人（見込み）	木のお箸	3歳児健診時	734人（見込み）	木の積み木等配置	子育て支援センター等	9箇所（年間見込延べ利用者数 16,337組）
木のスプーン	1歳半健診時	704人（見込み）								
木のお箸	3歳児健診時	734人（見込み）								
木の積み木等配置	子育て支援センター等	9箇所（年間見込延べ利用者数 16,337組）								
4. その他特記事項	取り組み内容等を市広報で発信する。									

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	伊賀市
------	-----------------	-----	-----

番号	区 分	事 業 名
2	基本・特別	みんなの里山整備活動推進事業
事業費 5,000 千円（うち交付金：5,000 千円）		

1. 事業の目的	地域のみなさんの主体的な参加のもと、地域や生活に密着した緑の環境づくりや里山・竹林を再生するため、自治会等が行う活動に対して支援する。
2. 事業の内容	緑の環境づくりや生活に密着した里山・竹林の再生のため自治会等の地域住民によるボランティア活動に対して補助金を交付する。 【事業費】 5,000 千円 【事業実施主体】 地域住民が組織する自治会等の団体 【対象となる活動】 地域の生活環境向上等を目的とした、緑化や里山・竹林の再生事業 【事業の規模（事業量）】 支援予定団体数：25 団体（活動参加予定者延べ人数 1,000 人） 【補助率等】 対象活動の用具費等経費 10/10（ただし、上限 25 万円/団体） 【事業実施予定時期】 平成 26 年 7 月～平成 27 年 2 月
3. 事業で期待される効果	地域の生活に密着した里山や竹林を地域住民の手で再生していくため、地域住民の里山や緑の環境についての関心が高まり、継続的に整備保全されることが期待される。 既存の森林整備事業では、整備が難しい暮らしに身近な里山や竹林の整備ができ、二次的に鳥獣害防止や災害防止の効果も期待できる。 【事業の規模（事業量）】 支援予定団体数：25 団体 【事業の活動参加数】 活動参加予定者延べ人数 1,000 人 【地域活動予定箇所】 50 箇所
4. その他特記事項	活動を行う自治会等にあつては、里山保全活動であることを示しながら事業を行うものとする。 事業の参加人数、作業内容を市に報告し広報する。

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	伊賀市
------	-------------	-----	-----

番号	区 分	事 業 名
3	基本・特別	伊賀の森っこ育成推進事業
事業費 3,500 千円（うち交付金：3,500 千円）		

1. 事業の目的	
森林環境への関心や要望が高まるなか、次代を担う子ども達の森林・林業への理解と関心を学校教育の場でも学べるようにする。	
2. 事業の内容	
市内の小学校が実施する、森林のはたらきや森林・林業の歴史についての学習活動、木材利用、木工体験（竹材等も含む）、間伐体験、里山整備活動、植物・樹木観察、野生生物・昆虫観察など、森林・自然や木に関連した森林環境教育にふさわしい内容の活動に対して、活動費用を補助する。 【事業主体】伊賀市 【事業費】3,500 千円 【事業の規模（事業量）】市内小学校 35 学級 【補助対象者】市内小学校の児童 【補助率等】活動費 10/10（ただし、各学校上限：6 年生の学級数×10 万円） 【事業実施予定時期】平成 26 年 7 月～平成 27 年 2 月	
3. 事業で期待される効果	
次代を担う子ども達に学校以外の講師やフィールドにおいて、森林・林業への理解と関心を広げて学ぶ事ができる。また、みえ森と緑の県民税の役割についても学ぶことができる。 例えば、三重県上野森林公園に出向き自然観察やネイチャークラフト等を行う、また高学年等にあては、実際に地域の森林に出向き、森のはたらきや林業について「森のせんせい」などから学ぶことができる。 【事業の規模（事業量）】市内小学校 35 学級 【事業の受益者数】市内の小学校全児童 4,578 人の内で 6 年間の内で少なくとも 1 度は森林環境教育を受ける機会を作る。	
4. その他特記事項	
学校の広報やホームページにも活動内容を掲載する。 森林環境教育に取り組みやすいように、森を育む人づくりサポート体制の利用を進める。	

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	伊賀市
------	-------------	-----	-----

番号	区 分	事 業 名
4	基本・特別	地域の森と緑のつながり支援事業
事業費		1,500 千円（うち交付金：1,500 千円）

1. 事業の目的	
かつて日常生活と密接なつながりをもっていた里山は、地域ごとの特色ある文化や景観を形成してきましたが、燃料革命や林業の衰退により、地域住民と森・緑・木材等森の恵みとの関係が薄くなってきているため、地域の子供達等が地域住民と共に森林・林業等への理解と関心を持ちつながりを感じられることを目的とする。	
2. 事業の内容	
住民自治協議会等が実施主体として、森・緑・木材と地域とのつながりを目的に、森や緑の学習活動として行う。木工体験（竹材等も含む）、間伐体験、植物・樹木観察、昆虫観察、地域の登山道の清掃ハイキングなど、森林・自然や木に関連した一般募集のイベント活動に対して、必要な費用を補助する。 【事業実施主体】住民自治協議会等 【事業費】1,500 千円 【事業の規模（事業量）】30 事業 【補助率等】対象経費の 10/10（ただし、上限：5 万円） 【事業実施予定時期】平成 26 年 7 月～平成 27 年 2 月	
3. 事業で期待される効果	
地域の住民つながりのなかで、森・緑・木材と親しむことで、森を育む人の育成と森を大切にする地域コミュニティづくりが期待でき、そのつながりを生かして継続的な発展が期待される。 【事業の規模（事業量）】30 事業 【事業の受益者数】地域による森林環境関連イベント参加の市民約 600 人	
4. その他特記事項	
事業の参加者については、広く募集する。 事業結果を自治会等の広報へ掲載する。	

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	名張市
------	--------------------	-----	-----

番号	区 分	事 業 名
1	基本・特別	森林公園等環境活用整備事業
事業費 2,130 千円（うち交付金：2,130 千円）		

1. 事業の目的	
市民の憩いの場である森林公園等などを整備することにより、住民の森林や緑に対する理解をさらに深めるとともに、自然に親しむ豊かな生活環境を作る。	
2. 事業の内容	
主体は地域住民 平成26年度のみ 地域住民が行政と協力して、東山ふれあいの森や桔梗が丘11号公園(鳴滝公園)、桔梗が丘西5号公園(野鳥公園)、赤目四十八滝溪谷内などの枯れ木や倒木を整理して遊歩道を整備するなど、住民が使いやすく親しみやすい公園に整備する。 【事業実施主体】 地域住民が組織する団体 【事業費】 2,130 千円 【事業の規模(事業量)】 4箇所(東山ふれあいの森、桔梗が丘11号公園(鳴滝公園)、桔梗が丘西5号公園(野鳥公園)、赤目四十八滝溪谷内) 【補助率等】 10/10 【事業実施予定時期】 平成26年4月～平成27年3月	
3. 事業で期待される効果	
公園整備を住民主体に活動で実施することにより、より親しみを持って優しく公園を利用し、市民みんながこころ豊かな生活が送れるようになる。 【事業の規模(事業量)】 4箇所(東山ふれあいの森、桔梗が丘11号公園(鳴滝公園)、桔梗が丘西5号公園(野鳥公園)、赤目四十八滝溪谷内) 【事業の受益者数】 整備に関わった住民の数 79 人 整備した公園等の年間利用者数(見込み) 10,000 人	
4. その他特記事項	
市の広報紙及び各新聞社へ資料提供。	

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	名張市
------	-------------	-----	-----

番号	区 分	事 業 名
2	基本・特別	木に親しむ木製遊具導入推進事業
事業費 2,100 千円（うち交付金：2,100 千円）		

1. 事業の目的	乳幼児が木のおもちゃで遊ぶことで、木の持つあたたかさや、やさしさに触れ、木への親しみを育みます。
2. 事業の内容	主体は名張市 平成26年度のみ 市内保育所、幼稚園の木製おもちゃ購入支援。 【事業実施主体】 名張市 【事業費】 2,100 千円 【事業の規模（事業量）】 21 施設(15 保育園、6 幼稚園) 【事業実施予定時期】 平成26年4月～平成27年3月
3. 事業で期待される効果	幼少期から木とのふれあいを通じて、森林や自然環境を大切に思う気持ちを育みます。また、保護者に対して税を還元することにもつながり、県民全体で森林を支える社会づくりにもつながります。 【事業の規模(事業量)】 21 施設(15 保育所、6 幼稚園) 【事業の受益者数】 幼児数 1,893 人(保育所 1,506 人、幼稚園 387 人)
4. その他特記事項	市の広報紙及び各新聞社へ資料提供。

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	名張市
------	-------------	-----	-----

番号	区 分	事 業 名
3	基本・特別	木に親しむ図書購入事業
事業費 522 千円（うち交付金：522 千円）		

1. 事業の目的	森林環境への関心や要望が高まるなか、次代を担う子ども達や市民の森林や木材についての知識を深めます。
2. 事業の内容	主体は名張市 平成26年～平成27年 市立図書館に森林や木材に関する図書を購入。 「森林・木材コーナー」を設置。 【事業実施主体】 名張市 【事業費】 522 千円 【事業の規模(事業量)】 260 冊 【事業実施予定時期】 平成26年4月～平成27年3月
3. 事業で期待される効果	森林の持つ多面的機能の理解と関心を広げて学ぶ場をつくることことができる。また、みえ森と緑の県民税の役割についても学ぶことができる。 【事業の規模(事業量)】 図書 260 冊 【事業の受益者数】 年間利用者数(見込み) 267,437 人
4. その他特記事項	市の広報紙及び各新聞社へ資料提供。 「森林・木材コーナー」を設置。

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	4. 木の薫る空間づくり	市町名	名張市
------	--------------	-----	-----

番号	区 分	事 業 名
4	基本・特別	木質バイオマス等利用促進事業
事業費 1,000 千円（うち交付金：1,000 千円）		

1. 事業の目的	森林所有者による未利用林地間伐材の利用を推進することにより、木質バイオマス資源の活用を図ると共に、森林の水土保持機能の回復に役立ちます。 間伐材の搬出困難等で森林内にある未利用間伐材の搬出経費を補助することで搬出を促進し、木質バイオマス燃料として活用するとともに、森林の持つ多面的機能の向上を図る。
2. 事業の内容	主体は林家及び林業事業体 平成26年度～平成27年度 木質バイオマスの促進を図るため、木質チップ用原木のマルタピアへの運搬経費を助成する。 【事業実施主体】 林家・林業事業体 【事業費】 1,000 千円 【事業の規模(事業量)】 400m³ 【補助率等】 定額助成(2,500 円/m³) 【事業実施予定時期】 平成26年4月～平成27年3月 【補助単価】 1m³当たり 2,500 円
3. 事業で期待される効果	水土保持機能の回復、未利用残材の処理を推進することにより災害時の隣地残材の流失防止に繋がる。 【事業の規模(事業量)】 未利用間伐材の搬出 400m³ 【事業の受益者数】 事業に参画した林家や林業事業体の数 100 人
4. その他特記事項	市の広報紙及び各新聞社へ資料提供。

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	名張市
------	-----------------	-----	-----

番号	区 分	事 業 名
5	基本・特別	溪流に面する森林の針広混交樹林化促進補助事業
事業費 720 千円（うち交付金：720 千円）		

1. 事業の目的	溪流に接する森林や溪流に面する森林の針広混交樹林化を進め、土石流などの災害を防止する森林の公益的機能の向上を図ることにより、災害を防ぎ防災に寄与する。 当市においては、かつて谷々を流れる溪流沿いに棚田が作られていたが、現在はその多くが植林をされ、森林となっている。しかし、これらの森林は植林されたのちの間伐や枝打ちが実施されないことが多く、木は密植状態で表土には草や雑木が生えていないことから、台風等により木は倒木になりやすく、土は容易に崩れ流れる。倒木と流れた土は溪流や森林内にダムを作り、その崩壊による下流の災害が懸念されており、溪流に隣接した森林も同様である。 このため、土石流などの災害が発生するリスクが高く下流側の人家、生活道及び公共施設等保全対象に影響があると判断される溪流森林に対象を限定し、強度間伐を実施するとともに広葉樹植栽等により針広混交樹林化を進め、土砂流出防備機能を始めとする森林の公益的諸機能の向上を図ることにより災害を防ぎ防災に寄与する森林を作る。また、間伐材についても搬出してダム化を防ぐとともに、バイオマス燃料等として有効活用を図る。
2. 事業の内容	溪流に面する森林の針広混交樹林化を推進するため実施する間伐と植栽する広葉樹の苗木購入、間伐材のバイオマス燃料への搬出を補助する。 【事業実施主体】森林所有者 【事業費】720 千円 【事業の規模(事業量)】溪流沿いのかつて水田であった森林、及び、概ね 500m 以内で溪流に隣接し、かつ溪流に向かって傾斜している森林 【補助率等】10/10 【事業実施予定時期】平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月
3. 事業で期待される効果	山林の持つ多面的機能の向上により土石流等の災害を防止することができる。また、間伐材の有効活用が図れる。 【事業の規模(事業量)】溪流沿いのかつて水田であった森林、及び、概ね 500m 以内で溪流に隣接し、かつ溪流に向かって傾斜している森林 【事業の受益者数】名張市民 約 80,000 人
4. その他特記事項	市の広報紙及び各新聞社へ資料提供。

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	尾鷲市
------	-------------	-----	-----

番号	区 分	事 業 名
1	基本・特別	尾鷲ヒノキ植樹体験森林塾
事業費		2,125,320 円（うち交付金：1,842,000 円）

1. 事業の目的	市内の小学生を対象に、ヒノキの植樹を体験してもらい、同時に尾鷲ヒノキの製品にいたるまで手間の説明など、尾鷲の林業について知ってもらう森林塾を開講する。
2. 事業の内容	市内の小学生を対象に、九鬼町の「漁民の森」において、尾鷲特有の密植の方法によるヒノキの植樹を体験してもらう。植樹作業にあたっては、尾鷲ヒノキが植樹から製品にいたるまでの手間について説明をおこない、尾鷲市の林業の現状について説明をおこなう。 【事業実施主体】尾鷲市 【事業費】2,125,320 円 【事業の規模】0.16ha にヒノキ苗 1,250 本植樹 【事業実施予定期間】：平成 26 年 11 月中に実施
3. 事業で期待される効果	植樹を体験することで、森林にふれあう場を提供し、森林と人との関わりについて学ぶ機会を設ける。 尾鷲市の特産品である「尾鷲ヒノキ」を身近に感じてもらい、森林のもつ公益的機能の役割、また、尾鷲の林業について学ぶことで、次世代へと繋がる森林教育が実施できる。 【事業の規模】0.16ha にヒノキ苗 1250 本を植樹 ・対象者：市内小学生 50 名 ・植樹地：九鬼町「漁民の森」（市有地） ・地拵え：0.16ha ・苗木：1,250 本 ・獣害対策：獣害ネット 240m 【事業の受益者数】受講者 50 名及び事業協力 PTA など、併せて 80 名
4. その他特記事項	・事業結果報告を市ホームページを通じ広報を実施 ・報道機関への資料提供 ・実施地において当該事業実施看板を設置



植樹体験予定地（尾鷲市九鬼町）

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	尾鷲市
------	-------------	-----	-----

番号	区 分	事 業 名
2	基本・特別	木とふれあう学校環境づくり事業
事業費 4,816 千円（うち交付金：3,929 千円）		

1. 事業の目的	
市内小学校に市産材で制作した机・椅子を配置し、木のぬくもりにふれあう機会を提供し快適な学習環境をつくる。また、児童の頃から木材にふれあう中で、森林や木材に関する知識を育んでいくことを目的とする。	
2. 事業の内容	
平成26年度は、宮之上小学校において、木製机・椅子の整備をおこなう。 【事業実施主体】尾鷲市教育委員会 【事業費】4,816,000 円 【事業の規模】宮之上小学校 机・椅子（120 セット）備品整備 【事業実施予定期間】平成26年8月中	
3. 事業で期待される効果	
木のもつ温かみや香り、肌ざわりなどの木の良さを実感できる快適な学習環境を提供することで、児童に安らぎや落ち着きなど癒しの効果をもたらす。 また、児童と共同で実際に机・椅子を組み立てることによって、作る楽しさと木の良さや魅力を肌で感じてもらうと同時に、自らが組み立てたものを継続して使用することで、愛着を持ちモノを大切にしようとする心を養うことができる。また、森林や木材に関する知識を育むことで、森林に関心を持つようになる。  「組立式」 尾鷲産ひのき材を使用します。  「組立式」の机・椅子を児童と共同で組み立て、木の魅力を感じてもらいます。 【事業の規模】宮之上小学校 机・椅子（120 セット） 児童と PTA 等との共同作業による机・椅子の組み立て作業 尾鷲の林業についての講義 【事業の受益者数】宮之上小学校 児童及び組立作業協力 PTA 等（見込み）併せて 200 名	
4. その他特記事項	
事業結果報告を市ホームページを通じ広報します。 報道機関への資料提供します。	

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	紀北町
------	-----------------	-----	-----

番号	区 分	事 業 名
1	基本・特別	人家裏等危険木伐採事業
事業費 1,250 千円（うち交付金：1,000 千円）		

1. 事業の目的	人家に密接する放置林（人工林を除く）において、災害を未然に防止する観点から、人家裏山林の危険木等伐採費用について補助を行う。	
2. 事業の内容	自治会が事業主体となり人家に隣接する山林内の危険木で緊急に伐採する必要がある場合に限り、その費用の一部を助成する。 【事業実施主体】自治会 【事業費】1,250 千円 【事業の規模】約 0.3ha 【補助率等】8/10 【実施期間予定期間】平成 26 年 5 月～平成 27 年 3 月	
3. 事業で期待される効果	当地域は、背後に急傾斜地を有する人家が多く、台風や集中豪雨の際に風倒木や土砂災害等のおそれがある。 危険が想定される人家裏山林の危険木を伐採することにより、災害を未然に防止し、集落周辺森林の適正な整備が促進されることが期待できる。 【事業の規模】約 0.3ha 【事業の受益者数等】2 地区 20 戸  （人家裏危険箇所）	
4. その他特記事項	採択要件： - 大雨等により落石・風倒木の危険があり人家等に著しく危険を及ぼすおそれがあるため、緊急的伐採が必要であると町長が認める場合。 - 自治会からの要望がある場合。 - 森林所有者が森林整備を行う必要があるが、森林所有者が何らかの理由で伐採できない、伐採する意思が無いなど申請者（自治会）と折り合いがつかない場合。 - 危険木に隣接する人家の土地所有者と森林所有者が同一人物で無い場合。 - 森林所有者の伐採同意が得られる場合。 上記の条件をすべて満たす場合に限り、補助採択をおこなう。 広報計画：事業の成果等を町広報誌等に掲載。	

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	紀北町
------	-----------------	-----	-----

番号	区 分	事 業 名
2	基本・特別	集落周辺森林（里山）整備事業
事業費 400 千円（うち交付金：400 千円）		

1. 事業の目的	
当地域は、沿岸部に人家が密集し、背後に急傾斜地を有する人家が多く、近い将来想定される東南海地震による津波の襲来が心配される。また、近年人家周辺山林に人が入ることが少なくなり、野生動物の隠れ場になっているケースも多い。 このような集落周辺等の荒廃が進む森林を住民自らが整備し、森林の持つ多面的な機能を活用し、安全安心・快適な生活環境を創出していく。	 土壌が荒廃した森林状況
2. 事業の内容	
地域住民が組織する団体等が集落周辺等の荒廃森林において風倒木整備、更新伐、草刈、歩道整備、植樹等の整備活動を実施する場合、活動費に対して助成を行う。 【事業実施主体】 地域住民が組織する団体（自治会やボランティア組織等）、NPO 等 【事業費】 400 千円 【事業の規模】 2 地区 約 7ha 【補助率等】 定額助成（160 千円/ha を上限とする） 【事業実施予定期間】 平成 26 年 5 月～平成 27 年 3 月	
3. 事業で期待される効果	
集落周辺森林を住民等が自ら整備し活用することにより、森林への理解や関心も高まり、災害時の一時避難所としての役割や、日常生活での憩いの場としての活用が期待される。 【事業の規模】 約 7ha 【事業の受益者数】 整備によって生活環境が向上する集落の戸数及び人数 590 戸 1,200 人	
4. その他特記事項	
広報計画：事業成果等を町広報誌等に掲載。	

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	紀北町
------	-------------	-----	-----

番号	区 分	事 業 名
3	基本・特別	森林環境教育事業
事業費		200 千円（うち交付金：200 千円）

1. 事業の目的	環境林や公有林、学校林等を活用し、森林環境教育や育林体験等を通じて、森林の持つ公益的な機能や役割を県民に広く理解してもらう機会を創出する。
2. 事業の内容	町内の小学生対象に森林環境教育や育林体験等を実施する。 また、森林環境教育等を実施するための学習プログラムの作成等を行う。 【事業実施主体】紀北町、紀北町教育委員会、森林組合、NPO、林業事業体等 【事業費】200 千円 【事業の規模】町内小学校児童・中学校生徒（小学校 11 校、中学校 4 校） 【事業実施予定期間】平成 26 年 5 月～平成 27 年 3 月 【学習内容】森林の働きについて （屋内学習）尾鷲林業について （屋外学習）町有林及び学校林等を活用した間伐体験や植樹体験。
3. 事業で期待される効果	当地域は、面積の約9割が山林で覆われ、そのうち人工林が約6割を占める。江戸時代より育林活動が盛んに行われてきたが、林業従事者が激減するとともに、山林の荒廃が急激に進行している。 こうした現状の中、植えて、育て、使い、また植える林業の重要性や森林の持つ公益的な機能の重要性を広く県民に理解してもらう機会を創出する。 【事業の規模】小学校 11 校、中学校 4 校で各 1 回（計 15 回） 【事業の受益者数】小学 6 年生 約 150 人、中学 3 年生 約 170 人
4. その他特記事項	広報計画：事業成果等を町広報誌等に掲載。



森林環境教育 植樹指導の様子

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	4. 木の薫る空間づくり	市町名	紀北町
------	--------------	-----	-----

番号	区 分	事 業 名
4	基本・特別	紀勢自動車道地域振興施設備品整備事業
事業費		13,414 千円（うち交付金：13,414 千円）

1. 事業の目的	紀勢自動車道三浦パーキングエリア（仮称）内に建築予定の地域振興施設備品類を県産材を用いて木質化し、木の薫る安らぎのある空間を来場者に提供する。
2. 事業の内容	平成26年度に紀北町が整備する当該施設内の物販販売コーナー、フードコーナー、バックアップオフィス等のテーブル、カウンター用天端板、椅子、棚等の木質化。 【事業実施主体】紀北町 【事業費】13,414 千円 【事業の規模】 フードコーナー内のテーブル10台、椅子40脚、カウンター用天端10m。 物販販売スペース内のディスプレイ用棚22組、カウンター用天端10m。 バックアップオフィス内の椅子40脚。他 【実施予定期間】H26.7～H27.3 紀勢自動車道地域振興施設 平面図
3. 事業で期待される効果	年間約60万人が訪れると想定される当該施設に県産材を用いて木の薫る安らぎのある空間を提供し、木のぬくもりにふれてもらう。 【事業の規模】 フードコーナー内のテーブル10台、椅子40脚、カウンター用天端10m。 物販販売スペース内のディスプレイ用棚22組、カウンター用天端10m。 バックアップオフィス内の椅子40脚。他 【事業の受益者数】年間利用見込み数 60 万人
4. その他特記事項	情報発信施設、物販販売、食事施設、防災施設が併設されるが、備品類の交付金を利用した木質化に関しては、産業振興が目的でなく、県民が広く利用し、木のぬくもりを感じてもらうことを主眼としている。また、高速利用客のみならず、防災拠点施設として、防災研修施設として広く地域住民が活用できる。 広報計画：施設内に「みえ森と緑の県民税」を活用の旨の名盤等を掲示する。

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	熊野市
------	-----------------	-----	-----

番号	区 分	事 業 名
1	基本・特別	身近なみどり整備推進事業
事業費 1,469 千円（うち交付金：1,469 千円）		

1. 事業の目的	市民の暮らしに関わりの深い、集落周辺等の森林や公共の場等の緑地を整備することにより、生活環境の保全や向上を図る。
2. 事業の内容	台風等による倒木の恐れがあり、住民生活に支障をきたす危険木の除去に対して支援する。 区や個人からの要望がある場合、所有者からの申請に基づき、審査のうえ早急な整備が必要と認めたものについて支援する。 【事業実施主体】区または個人（森林所有者） 【事業費】1,469 千円 【事業の規模（事業量）】8箇所 【補助率等】整備に係る経費の 1/2 以内（ただし、限度額 20 万円とする） 【事業実施予定時期】平成 26 年 5 月～平成 27 年 3 月
3. 事業で期待される効果	危険木が除去され整備される。 【事業の規模（事業量）】8箇所 【事業の受益者数】整備によって倒木被害を受けなくなる集落数 8集落
4. その他特記事項	事業結果については、市のHPなどを通じて、PRする。

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	熊野市
------	-------------	-----	-----

番号	区 分	事 業 名
2	基本・特別	緑化大会開催事業
事業費 1,000 千円（うち交付金：1,000 千円）		

1. 事業の目的	
森林や緑を大切に思い・育む人づくりのため、植樹活動やさまざまな行事を通じて多くの市民等に森林や緑について学び・ふれあう機会を提供し、森を身近に感じてもらうことにより、森づくり活動等への関心を醸成する。	
2. 事業の内容	
市民などによるサクラやモミジなど広葉樹を植栽する植樹祭を開催する。 【事業実施主体】三重県緑化推進協会 【事業費】1,000 千円 【事業の規模（事業量）】植樹祭開催 1 回、松本峠付近の熊野古道沿いの林地 0.2ha、 参加者（見込み）80 人 【事業実施予定時期】平成 26 年 5 月 24 日	
3. 事業で期待される効果	
市民などによる植樹により、森づくり活動等への関心が醸成される。 【事業の規模（事業量）】植樹祭開催 1 回、松本峠付近の熊野古道沿いの林地 0.2ha 【事業の受益者数】植樹祭への参加者（見込み） 80 人	
4. その他特記事項	
熊野古道の世界遺産登録 10 周年記念行事との併催とする予定 事業結果については、市のHPなどを通じて、PRする。	

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	4. 木の薫る空間づくり	市町名	熊野市
------	--------------	-----	-----

番号	区 分	事 業 名
3	基本・特別	木造住宅建設促進対策事業
事業費 17,270 千円（うち交付金：6,270 千円）		

1. 事業の目的	
木づかいを通じて森林を支えるため、熊野材と市民との関係を深め、木造住宅での熊野材の利用を促進し、木の薫る空間づくりを図る。	
2. 事業の内容	
熊野材を使用した床面積 100 ㎡以上の住宅で、モデルハウスとして提供することに同意した場合に、施主を支援する。モデルハウスの見学会は、2 日（土日を含む）以上を予定しており、地域の新聞を通じて見学者を募集する。 【事業実施主体】住宅建設者 【事業費】17,270 千円 【事業の規模（事業量）】住宅数 12 件、熊野材使用量（見込み）240m³ モデルハウスの見学者数（見込み）50 人 【補助率等】50 万円相当の地域商品券 【事業実施予定時期】平成 26 年 5 月～平成 27 年 3 月	
3. 事業で期待される効果	
見学者の中から、新たに熊野材を利用した住宅の建設を指向する者が現れることが期待される。 【事業の規模（事業量）】住宅数 12 件、熊野材使用量（見込み）240m³ 【事業の受益者数】モデルハウスの見学者数（見込み）50 人	
4. その他特記事項	
事業結果については、市のHPなどを通じて、PRする。	

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	御浜町
------	-----------------	-----	-----

番号	区 分	事 業 名
1	基本・特別	学校林整備事業
事業費 411 千円（うち交付金：411 千円）		

1. 事業の目的	
御浜町立神志山小学校裏山に所在する学校林は、これまで放置され荒廃してきていることから、学校林を活用した課外授業に支障をきたしている。このため、学校林を整備することにより、小学生が森林に入り、身近に感じることのできる環境を再生することにより、暮らしに身近な森林づくりを図る。	
2. 事業の内容	
御浜町立神志山小学校の荒廃している学校林において、整理伐を行う。 【事業実施主体】 御浜町 【事業費】 411 千円 【事業の規模（事業量）】 学校林 1ha 【事業実施予定時期】 平成26年4月～平成27年3月	
3. 事業で期待される効果	
整備後は、小学生が森林にふれあう場所として活用されることが期待される。 【事業の規模（事業量）】 学校林 1ha 【事業の受益者数】 整備後の学校林を活用する児童数 30人	
4. その他特記事項	
事業の成果は、町の広報誌を通じて広報する予定	

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	御浜町
------	-----------------	-----	-----

番号	区 分	事 業 名
2	基本・特別	御浜町竹林整備事業
事業費 1,711 千円（うち交付金：1,711 千円）		

1. 事業の目的	町内においては、竹林が拡大しつつあり、拡大する竹林は、林内の他の草木を枯らし、また、森林や居住区域にも侵入しつつあることから、その竹林を除去することにより、生活環境の保全・向上を図る。
2. 事業の内容	集落周辺において拡大している竹林を除去する。 【事業実施主体】 御浜町 【事業費】 1,711 千円 【事業の規模（事業量）】 竹林整備面積 0.6ha 【事業実施予定時期】 平成26年4月～平成27年3月
3. 事業で期待される効果	竹林を除去することにより、生活環境の保全・向上がなされる。 【事業の規模（事業量）】 竹林整備面積 0.6ha 【事業の受益者数】 整備によって生活環境が保全・向上される人家数 10戸 20人
4. その他特記事項	事業の成果は、町の広報誌を通じて広報する予定

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	4. 木の薫る空間づくり	市町名	御浜町
------	--------------	-----	-----

番号	区 分	事 業 名
3	基本・特別	学校施設木質化事業
事業費 1,367 千円（うち交付金：1,367 千円）		

1. 事業の目的	
木づかいを通じて森林を支えるため、御浜町立の学校施設における、木材製品の導入などを通じて、木材利用を促進し、木材と町民との関係を深める。	
2. 事業の内容	
県産材木製品による学校備品の整備。 【事業実施主体】 御浜町 【事業費】 1,367 千円 【事業の規模（事業量）】 1 校、掲示板 1 基、踏み台 1 基、座卓 1 基 県産材使用量（見込み）0.01m³ 【事業実施予定時期】 平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月	
3. 事業で期待される効果	
公共施設である学校施設の木質化を行うことで、町民が木にふれあう空間ができる。 【事業の規模（事業量）】 1 校、掲示板 1 基、踏み台 1 基、座卓 1 基 県産材使用量（見込み）0.01m³ 【事業の受益者数】 導入した備品を使用する児童数 30 人	
4. その他特記事項	
事業の成果は、町の広報誌を通じて広報する予定	

平成26年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別計画書

対策区分	4. 木の薫る空間づくり	市町名	紀宝町
------	--------------	-----	-----

番号	区 分	事 業 名
1	基本・特別	公共施設木造化事業
事業費 62,953 千円（うち交付金：20,440 千円）		

1. 事業の目的	
昭和49年建築の老人福祉施設「紀宝町立鶴殿老人憩の家「讃寿荘」」の改築にあたり、外材ではなく、スギやヒノキの木材をふんだんに使用することにより、木の薫る空間を創出し、併せて災害に強い家づくりにより、特有の香りや調湿性、強靱さなどスギやヒノキの木材の特性を体感しながら憩うことのできる場を町民に提供する。	
2. 事業の内容	
老人福祉施設「紀宝町立鶴殿老人憩の家「讃寿荘」」の改築 【事業実施主体】 紀宝町 【事業費】 62,953 千円 【事業の規模(事業量)】 床面積：211 ㎡、県産材利用量：43m³ 【事業実施予定時期】 平成26年8月～平成27年3月	
3. 事業で期待される効果	
改築により料理教室や囲碁・将棋、詩吟、習字等の会場として多くの町民に利用されるようになる。 【事業の規模(事業量)】 床面積：211 ㎡、県産材利用量：43m³ 【事業の受益者数】 施設の年間利用者数(見込み) 3,600 人	
 (改築前の施設の外観)	 (当該施設の活用状況)
4. その他特記事項	
・維持管理については、紀宝町老人憩いの家条例に基づき、施設利用者の意見を参酌しながら、利便性の向上に配慮していく。 ・施設の使用料は、今後とも、原則として無料としていくこととしている。 ・施設の整備に当たっては、当該施設が広く県民の負担で建設されたことに関する情報を示す看板などを設置し、広報する予定。	